

タイトル	北海学園大学 - レスブリッジ大学教員交換プログラム V3：現地での生活
著者	松浦，和宏； MATSUURA, Kazuhiro
引用	北海学園大学学園論集(196)： 53-124
発行日	2025-03-27

# 北海学園大学-レスブリッジ大学 教員交換プログラム V3：現地での生活

松 浦 和 宏

## はじめに

本稿をお読みいただければ、レスブリッジでの生活や大学での仕事について、ほぼすべてを網羅していただけます（その素晴らしさが少しでも伝わると嬉しいです）。ただ、「長い」と感じる方もいらっしゃるかもしれません。その場合は、★マーク付きの項目だけでもザックリと読んでいただければ大丈夫です。

レスブリッジへの赴任が決まった方、どうぞ現地の生活を思いっきり楽しんでください。教職員の方々はみな（想像を遥かに上回るくらい）親切です。学生たちも凄くフレンドリーで、モチベーションも高く、授業も一生懸命に聞いてくれます。授業の準備は少しだけ大変ですが、そんな苦勞が吹き飛んでしまうくらい、とても充実した4ヶ月間を過ごせるはずです。間違いなく「来てよかった」と思える素晴らしい経験になることでしょう。もし赴任を迷っている方は、この原稿を読んで写真を見て、一歩踏み出していただければと思います。なお、レスブリッジ大学から支給される交通費や毎月の生活費の具体的な金額については、国際交流課へお問い合わせいただくか、募集要項をご確認ください。本稿では詳細な金額をここに記載することは諸事情により控えさせていただきます。また、大学周辺やキャンパス内、バスの中の様子などの動画を何本かYouTubeにアップロードしました。YouTube上で検索して頂ければヒットすると思います。もし見つからない場合は、私までお知らせください。リンクをお伝えします。

ちなみに私は2024年度をもって北海学園大学を「卒業」する予定ですが、何かお困りのことがあればいつでもご連絡ください。皆さまのレスブリッジ生活が最高のものになりますよう、心からお祈りしています。

## 本稿について

レスブリッジ大学と北海学園大学の交換教員プログラムをご存知ですか？一言で表現するならば、「名湯でありながら超秘湯」のようなプログラムです。学内での知名度は高くなく、応募者

も多くはありません。しかし、実際にこのプログラムに参加している私から見ると、それは非常にもったいない話です。このプログラムには、本当に素晴らしい魅力があります。現地の親切的な教職員の方々、日本文化に強い関心を持ち、熱心に授業に参加する学生たち、そして何よりカナダの雄大な自然…。参加するだけで、多くの経験や友人を手に行ける。どれをとっても素晴らしく、欠点を挙げるのが難しいほどです。

ただし、「興味はあるけれど、応募に不安を感じている…」という先生もいらっしゃるのではないのでしょうか？ 実は、このプログラムは30年以上の歴史を誇るにもかかわらず、現地での生活や授業の実際についての情報が意外と少ないのが現状です。そこで本稿では、「現地での生活環境」や「授業の実際」など、具体的で役立つ情報を詳しくお伝えします。これから赴任を予定されている方、そして参加を検討中の方に少しでも参考になれば幸いです。また、文章の最後には現地の写真も多数掲載していますので、レスブリッジの様子をイメージする際のお役に立てればと思います。

なお、応募方法や応募後の手続きについては、元法学部の上野先生と経営学部の赤石先生がすでに詳しく解説されています（「北海学園-レスブリッジ大学教員交換プログラム V2」(2020)をご参照ください）。本稿では、これまで触れられていなかった宿舎、お金関連、生活環境、移動手段、授業の実際などの現地情報をお届けします。また、工学部の小柳先生や元法学部の池田先生が交換教員として赴任された際の情報も取り入れています。

この場を借りて、上野之江先生、赤石篤紀先生、小柳秀光先生、池田真歩先生に心より感謝申し上げます。また、2018年に亡くなられ、本プログラムに数十年にわたりボランティアとしてご尽力いただき、レスブリッジ大学の交換教員に多大な支援と貴重な思い出を与えてくださった若井清さんに、この原稿を捧げます。本稿が、このプログラムの魅力をより多くの方々に伝える一助となれば幸いです。

## 現地の様子

### 【宿舎・ネット・電話について】

#### ・家電や設備について

宿舎には以下の家電や設備が備え付けられています：冷蔵庫、大型のオーブン、電子レンジ、トースター、炊飯器、コーヒーメーカー、加湿器、扇風機、照明器具、ケトル、テレビ（各自のアカウントによるサブスクリプションサービスのみ視聴可&通常の放送は映らない）、調理器具、掃除機（やや不具合あり）。ドライヤーもありますが、風力が弱いので、私物の持参をおすすめします。

・故障対応について

宿舎は清潔で管理が行き届いていますが、時折設備の故障が発生することがあります。その際は、早めに Housing Service に連絡しましょう。迅速に対応してくれます（場合によっては即日）。まずは職員の方が簡単に様子を見てから、状況次第では専門業者が修理に来る流れです。連絡は電話よりもメールがおすすめで、故障箇所や機器の写真を添付するとより早く対応してもらえます。私の場合、換気扇、暖房、コーヒーマーカーが故障しましたが、いずれも迅速に対応してもらえました。

・宿舎の構造と設備について

宿舎は Siksika House の 3 号室で、1 階に玄関、2 階にリビングとキッチン、3 階に 2 つのベッドルームとトイレ・バスがあります。リビングの窓からは、素晴らしい丘の景色が楽しめます。

・洗濯設備について

洗濯機は宿舎の外にあり、外に出て左折して徒歩 15 秒の距離です。使用料は 1 回 2 ドルで、乾燥機も同額です。以前は硬貨のみ対応でしたが、2024 年夏からは ID カードでの決済が可能になりました。ID カードはキャッシュオフィスで補充でき、構内にある機械（あちこちにありますが）でも入金可能です。この ID カードでバスにも乗れ、教員は無料で利用できますが、家族は別途バスカードを購入し入金する必要があります（入金はウェブ、もしくは学内のコンビニで可能です）。

・宿舎内の物品について

これまでの赴任者が残した物品が多く、食器や筆記用具などの生活必需品は揃っています。また、タオルや寝具など、基本的な生活用品も完備されています。

・エアコンについて

宿舎にはエアコンがありませんが、2024 年の夏は 9 月 2 日を除いては涼しく過ごせました。扇風機が 3 台あるため、特に問題は感じませんでした。

・★スマートフォンのネット環境について

スマートフォンは楽天モバイルを使用して渡航しました。特別な設定は不要で、アメリカのシアトル、カナダのカルガリーやバンクーバー、レスブリッジでも問題なくインターネット接続ができました（速度はやや遅いものの）。学内や宿舎内は Wi-Fi が完備されており、キャンパス内にいれば自動で接続されます。スーパーマーケットなども Wi-Fi があり、楽天モバイルのデータをほとんど使うことなく滞在できました。その結果、滞在中は通話料を除いて毎月 980 円（基本使用料のみ）で済みました。

★ Wi-Fi の種類について

キャンパス内で利用できる Wi-Fi には、「Guest@UofL」（手続き不要）と「eduroam」（エデュローム&パスワードが必要）の 2 種類があります。キャンパス内のワイヤレスプリンターを使用する際は、eduroam に接続しておく必要があります。私の PC（Mac）は eduroam への接続がう

まくいかなかったため、キャンパス内にあるテクニカルセンターで設定してもらいました。

- ・ネット速度について

宿舎と研究室のネット速度は特に不自由なく使えました。詳しい速度については添付写真をご参照ください。

- ・スマートフォン（通話）について

ANAの航空券変更などの際、楽天モバイルの楽天LINKを使用して有料通話が可能でした。これは非常に便利でした。ただし通話料金は高額になります。1時間前後の使用で5000~6000円程度かかった記憶があります。

- ・SIMカードについて

ドラッグストアやコンビニでSIMカードが販売されていないのは意外でした。現地でSIMを入手しようと考えている方は注意が必要です。

- ・固定電話について

宿舎と研究室には固定電話が設置されています。無料で通話できるのは学内電話と市内電話のみです。市外に電話をかける際は、最初に「9」をダイヤルしてください。

## [買い物・食料・移動について]

### ★スーパーマーケットの比較

レスブリッジにはSave on Foods, No Frills, Safewayといった大型スーパーマーケットがあり、いずれもバスで10分ほどの距離にあります。これだけ聞くとかなり不便なように聞こえますが、バスの本数も多く割と時間的にも正確に走っているため、買い物について苦労はしません(車を出してくれる先生も多くいらっしゃいます)。個人的な評価では、Save on Foodsが最も品質が高く、新鮮なオーガニック食品も豊富です。次にSafeway, No Frillsの順でランク付けできます。取り扱っている商品の値段も、その順で高→低となります。Save on Foodsではネット注文や配達サービスも行っており、ウェブで注文すれば宿舎まで届けてくれます(送料がかかります。イオンやヨーカドーの配達サービスに似た感覚です)。

- ・Save on Foodsのアプリ

Save on Foodsを利用する際、事前にお店のアプリをダウンロードしておくとお得です。割引が適用され、ポイントも貯まります。

- ・Shoppers(薬局+コンビニ)

徒歩圏内にあるShoppers(歩いて15分前後)では日用品がある程度揃い、少量の食品も販売しています。大型のコンビニのような感じですが、価格はやや高めです。また、ShoppersとNo Frillsは同じアプリとポイントカードを利用していますので、訪問前にアプリをダウンロードしておくとう便利です。

・雑貨など（DOLLARAMA と Bulk Barn）

スーパーマーケットで基本的なものは何でも手に入りますが、雑貨や調味料などに特化したお店を利用したい場合は、DOLLARAMA と Bulk Barn がおすすめです。ちょっとした雑貨は DOLLARAMA で手に入ります。DOLLARAMA は日本のスリーコインズ的なお店で、日常雑貨やキッチン雑貨的なものは全てこのお店で手に入ります。また、量り売りで食品やお菓子を買いたい場合は、Bulk Barn がおすすめです。調味料やお茶なども売っていて、とても便利です。なお、DOLLARAMA も Bulk Barn もバスの移動圏内にあります。

・到着時のサポート

到着初日は、大学の職員が冷蔵庫に食料を用意してくれます。

・キャンパス内の飲食店

キャンパス内には複数のカフェ（キャンパスコーヒーやスターバックス）やファーストフード店（サブウェイなど）があります。到着直後に買い物ができなくても食べ物には困りません。キャンパスコーヒーは土日も営業しており、店員さんも親切です。キャンパスコーヒーの会員になると、フードや飲み物の割引きを受けることができます。

★ Amazon の利用について

食品以外の物品は、Amazon が最安です。送料や配達日を考えると、Amazon プライムに加入するのが最もお得。2024 年時点で、月額 7.99 CAD でプライム会員になれます（初月は無料）。頻繁に買い物をする場合、プライム会員になる方が得策です。日用品や消耗品は Amazon、生鮮食品は現地スーパーで購入するのが良いでしょう。

・移動手段について

2024 年時点で、レスブリッジ空港へのアクセス手段はタクシーのみです。到着時と帰国時には、レスブリッジ大学の職員が空港まで送迎してくれます。ダウンタウンにはレンタカー店もありますが、私は日本で国際免許を取得しつつも結局レンタカーを使うことはありませんでした。

・バスの利用方法

バスは前方から乗車し、カードリーダーに ID カードをかざして支払います。降車時は後方から。座席の近くにある黄色い紐を引いて知らせます。大学から支給される教員用の ID カードを使えば、バスの利用は無料です（家族は別途バスカードの購入が必要）。

★航空券のマイル利用について

これからお伝えする内容は、陸マイラー（マイルをこよなく愛する方々）にとっては、まさに福音といえるものです。私自身が初めての実践者で、裏技的（&グレーゾーン的？）な方法ですので、あくまで「こんな手もあるんだな」という程度に読んでいただければと思います。

カナダまでの移動に、特典航空券を活用できます。ただし、少しだけ注意が必要です。日本とカナダ（またはアメリカ）間の航空券をマイルで取得することが可能ですが、（レスブリッジ大学側からの要請で）一部区間は実費での購入が必要です。つまり、日本⇄レスブリッジの全てをマ

イルで賄うのはNGです。例えば、カナダやアメリカに到着した後の空港からレスブリッジまでのフライトや移動を実費で購入すればOKです。それ以外の長距離部分を全てマイルで賄えるので、結果的にかなりのコスト削減が期待できます。ただし！ここで気を抜いてはいけません。近年、特典航空券はとんでもなく競争率が高くなっています。特にビジネスクラス以上はとても人気が高いです。「いつか取れるでしょ」と悠長に構えていると、気づけば席がゼロ…なんてことも。ですので、予約はできる限り早めに動くのが鉄則です。

#### ・交通費

交通費については、所定の金額がレスブリッジ大学から支給されます。金額は、単身か家族同伴かで異なります。ただし、余剰金が発生した場合、その部分が課税対象となる可能性があるため注意が必要です。私の場合、シアトルで1泊、カルガリーで8泊した際の滞在費がすべて交通費として認められたため、税金はかかりませんでした。

#### ・市内の移動手段

市内のほとんどの場所にはバスで移動できます。バスは大学前から出ており、非常に便利です。IDカードを使えば無料で利用できます。

#### ・飛行機の遅延・キャンセル

レスブリッジ空港発着の飛行機は、特に冬場に遅れやキャンセルされることが多いです。そのため、カルガリー空港までバスで移動する先生も多いようです。

#### ・カナダ国外への移動

就業期間中（授業がある期間中）にカナダ国外に出るのは難しいとされていますが、不可能ではないようです（事前の手続きが必要）。行き・帰りにカナダ国外を経由することはできます。また、休日や授業の休み期間中（11月上旬にリーディングウィークと言って1週間の休みが入ります）は、カナダ国内の移動であれば自由にできるようです。休講については、基本的にはできないと考えておいた方が良いでしょう。

#### ・日本食

ダウンタウンには、日本食材が手に入るスーパーが2店舗あります。Nakagama とアジアン・スーパーマーケットです。Nakagama は小規模ですが、日本の調味料やお菓子、お米などの基本的な食品が揃っており、日本製品に特化したお店です。オーナーも日本の方です。アジアン・スーパーマーケットは中規模のスーパーで、日本以外にも韓国や中国など、アジア各国の食品を幅広く扱っています。どちらもバスで簡単にアクセスできるので、日本食が恋しくなったときにおすすめです。

#### ・その他の施設（添付写真あり）

### CASA

CASA はダウンタウンにある芸術関連施設で、バスで乗り継ぎなしで行くことができます。手芸やミシンを含む多彩なコースが用意されており、芸術に特化したカルチャーセンターのような

場所です。特に 11 月中旬にはクリスマス関連のマーケットが開催され、多くのポップアップショップが出店していて見応えがあります。

### **Galt ミュージアム**

ダウンタウン近くに位置し、バスで簡単にアクセス可能です。レスブリッジの歴史を学べる施設で、お土産コーナーが特に魅力的です。私は、Save on Foods と Galt ミュージアムで日本へのお土産を購入しました。

### **Milk Bread & Honey**

ダウンタウンにあるおすすめのカフェです。サンドイッチやラテが充実しており、ちょっとした息抜きやランチにぴったりです。

### **Writing-on-Stone 州立公園**

少し遠いですが、ファーストネーションの岩の彫刻や美しい景色が楽しめます。自力でのアクセスが難しいため、現地の先生に「行きたい場所はありますか?」と聞かれた際にお問い合わせるのがおすすめです。

### **Waterton Lakes National Park**

さらに遠方ですが、壮大な山々と湖が広がる国立公園で、カナダらしい雄大な自然を堪能できます。機会があれば、現地の先生にお願いして連れて行ってもらうのがおすすめです。

### **カルガリーと周辺観光**

週末やリーディングウィークの連休中にバスでカルガリーを訪れるのも良いでしょう。カルガリーからさらに足を延ばして、Banff National Park を訪れるのもおすすめです。私は残念ながら Banff には行けませんでした。こちらも壮大な自然が広がる国立公園です。

## **[授業について]**

### **・授業の言語と通訳について**

レスブリッジ大学では通訳なしで授業を行うことが求められます（追記：どうしても英語に不安がある場合は、特例的に通訳をつけてもらうこともできるようです）。2022 年から 2024 年までの 3 年間、授業は通訳なしで実施されました（それ以前は、毎年通訳がついていたようです）。通訳がなくても問題ありません。たとえ拙い英語であっても、こちらが一生懸命に伝えようとすれば、学生たちは熱心に耳を傾けてくれます。この「熱意」が非常に重要です。以前、ある先生から次のようなご助言をいただきました。「ネイティブでない人が外国語を上手く話せないのは当たり前。それでも、必死に伝えようとすれば、相手はこちらの話を聞いてくれる。読み上げソフトや通訳に頼って無難に済ませようとするのは、逆効果だ。」私もその通りだと思います。そもそも、日本から来た教員がネイティブ並みの英語力を有しているとは学生たちは最初から思いません。それ（英語力）よりも、彼らが興味を持てるコンテンツを用意し、一生懸命に伝えることで、学生たちも真剣に受け止めてくれます。また、通訳の方が介在することで、学生たちは教



員と通訳の両方に注意を向けるでしょうから、学生たちとの距離感が必然的に広がってしまうと思います。通訳が付かない以上、覚悟を決めて全力で挑むのが最善策です。大丈夫です、きっと上手くいきます。

#### ・授業の目標

これはあくまでも私個人の方針ですが、多くの学生が日本に興味を持って参加してくれているため、授業を楽しんでもらえる雰囲気作りに注力しました。つまり、知識を詰め込む授業ではなく、楽しみながら日本に対する興味関心を深めてもらうことを第一の目標としました。無理に知識を押し付けても、それでは授業が単なる単位取得のためのものとなってしまう、結果的に日本への興味や印象が悪くなる可能性があります。それではあまりにも悲しいですし、授業が逆効果となって彼らの興味を削いでしまうのは避けたいと考え、このような方針を採用しました。

そもそも学生たちは、日本に関する過度にマニアックな知識やニッチな情報には興味がありません。逆に、表面的な情報は、それこそ YouTube など十分に学べます。日本が抱える様々な問題や課題も取り上げ、学生たちの知識を深めながら、全体的には日本に対する関心をさらに高められるような授業内容が求められます。

#### ・授業前後の学生対応

授業の前後には、日本に強い関心を持つ学生から個別に質問を受けることが多いですが、授業後は（学生たちが）次のクラスへ急ぐため対応が難しい場合があります。そのため、私は授業開始の30分前に教室に到着し、廊下や教室内で学生と事前にコミュニケーションを取る時間を設けていました。また、授業後も教室に残り、学生からの質問に対応するようにしていました。

#### ★授業の構成例（詳しくはシラバスを参照）

全25回の授業を次のように構成しました。1回目はイントロダクション、8回は日本文化の基礎、3回はテスト前の復習、3回は Moodle の自動採点機能を活用したテスト、8回はスタジオ・ジブリ作品を通じた日本文化の学習、そして2回は北海学園大学の学生による北海道紹介プレゼンテーションです。大学からは、教員の専門分野に沿った内容を求められます。具体的には、派遣教員の専門性を活かした日本に関する授業を行うことが期待されています。また、過去に行われていた日本語の授業（例：ひらがなの書き方指導など）は、他の日本語科目と重複するため、除外するようレスブリッジ大学から要請されています。

8回の授業で日本の文化や特徴（宗教や武士など）について学び、その学びを有機的に活用してスタジオジブリの2作品を理解するという流れにしました。

#### ・その他授業のオプション的なメニュー

授業の終盤で10分程度時間が余った場合に備え、オプションのメニューとして「Q & A コーナー」と「日本語スラング紹介コーナー」を用意していました。

Q & A コーナーでは、事前に学生から寄せられた質問に対し、授業内でパワーポイントを使って回答しました。質問の内容は多岐にわたり、時には非常に深くて難しいものもあり、回答に頭

を悩ませることもありました、それだけにやりがいがありました。

スラング紹介コーナーでは、日本の若者が使うスラングをパワーポイントでまとめて紹介しました。どちらのコーナーも学生たちから非常に好評でした。

#### ・北海学園大学人文学部の学生によるプレゼンテーション

このプレゼンは派遣教員の任意で行うものです。2024年に初めて実施された新しい試みで、もともとのレスブリッジ大学の授業計画には含まれておらず、シラバスへの記載や実施の有無も派遣教員の判断に委ねられています。内容としては、人文学部の国際文化特別演習に参加している、レスブリッジ大学に留学中の学生たちによる北海道や日本の紹介が中心です。

私の場合は、人文学部の先生から依頼を受け、双方の学生にとって有益な経験になると考え、引き受けました（そして実際に、双方の学生にとって非常に有益な機会になりました）。ただし、ここで一つ注意点が。プレゼンを授業に組み込むとなると、授業計画の調整が大変になります。そのため、引き受けるかどうかは教員自身の余裕次第で判断すると良いでしょう。

「やってみよう！」と思えるくらい余裕があるなら、きっと素晴らしい交流の場になります。レスブリッジ大学の学生にとっても、同年代の留学生のプレゼンは刺激になります。逆に「ちょっと厳しいかも…」という場合は、無理せず見送る選択肢も十分あります。

#### ・Moodle を使ったテストと評価方法

3回のテストは Moodle の自動採点機能を活用して実施し、他の課題や出席確認も Moodle を通じて行いました。課題や出席点などのすべての成績が可視化されるため、学生からも好評でした。

#### ・履修者数

仮登録は 24 名でスタートし、本登録は 22 名でした。10月上旬に 1 名が離脱し、最後まで授業に参加したのは 21 名でした。授業に参加することへのインセンティブを複数設定していたことが効いたのか、途中離脱者は 1 名のみでした。

#### ・シラバスの参照

授業の詳細については、巻末に記載されているシラバスをご参照ください。なお、完成版の提出後にシラバスの変更はできません。

#### ・教室設備とガジェットの使用

毎年教室は異なりますが、どの教室でも持ち込んだガジェットを問題なく使用できるでしょう。私は Mac の PC（2024 MacBook Air）と Apple TV を使って授業を行いました。特にトラブルはありませんでした。教室のプロジェクターとガジェットの接続は HDMI 端子です。

#### ・アダプターの持参

2024 年度時点で、教室設備は Type-C に対応していません。そのため、HDMI 端子のないノート PC やタブレットを持参する場合は、別途アダプターが必要です。

・教室環境

教室によっては、教卓と学生の座席がかなり離れていることがあります。授業中に移動せずにPCを操作できるよう、パワーポイントのリモコン（パワポ送り）があると便利です。

・日本のお菓子の持参

スーツケースに余裕があれば、日本のお菓子を持参して授業中に配ると良いでしょう。学生に非常に喜ばれます。

★ Moodle の活用

授業のアナウンスや資料配布、課題の提出はすべて Moodle で行います。Moodle を使ったことがない先生は、慣れるまで苦勞するかもしれません。私は普段 Google Classroom を使用していますが、Moodle は全く異なるシステムでした。問題作成は何とかできましたが、自動採点や配点設定は複雑で手間がかかりました。Moodle のガイダンスはありませんので、Teaching Centre で詳しく教えてもらうことをお勧めします。

・PC やタブレットのディスプレイサイズ

大きめのディスプレイが付いたノート PC やタブレットを持参することをお勧めします。具体的には 15 インチ程度のディスプレイが理想です。小さなディスプレイで長時間作業するのは非常に疲れます。私は、部屋に備え付けのテレビをディスプレイ代わりに使って作業していました。

・Teaching Centre のサポート

Teaching Centre の職員の方が、親切に Moodle の操作方法を教えてくれます。操作で不明な点があれば、早めに Teaching Centre に相談するか、メールで問い合わせることをお勧めします。特に細かい部分分からない場合、メールでの説明が難しいこともあるため、その際はセンターを直接訪れるか、メールで予約をして対面でのサポートを受ける方が良いでしょう。

★ Moodle 使用時の注意点

Moodle で特に注意が必要なのは、成績の開示、テスト実施時の手続き、それと点数の算出方法です。成績の開示とは、各テストや課題の点数および総合成績を学生が見えるようにする設定です。これを教員が設定しない限り、デフォルトでは学生から見えない「ステルス状態」になっています。また、Moodle でテストを行う場合、事前にテストセンターへの依頼が必要です。学生たちは、テストセンターでテストを受けることになります。これはオンラインで手続きが可能です。授業中に学生が教室で各自のデバイス（スマートフォンやタブレット）を使用して Moodle 経由でテストを受ける方法は、推奨されていません（各自がデバイスを授業中に勝手に使って良いというシグナルになってしまうことを現地の教職員は懸念しているようです）。

また、仮に事前に課題を Moodle 上で作成していた場合、手動で設定を変更しない限り、将来的に使用される課題も現在のスコアの評価範囲内に含まれてしまい、見た目上、生徒の成績が下がる仕組みになっています（まだ使用されていない課題が、0点で成績に組み込まれてしまうため）。これを回避するには、予め準備してある課題を現時点の成績対象から手動で外す必要があ

ります。兎にも角にも、初めてのユーザーにとってはかなり使いにくい Moodle。慣れてしまえば結構便利なのですが…。分からないことがあれば、急ぎ Teaching Centre に連絡した方が良いでしょう。メールでも対面でも対応してくれますし、ネット上で対面セッションの予約もできます。放置しておく、後から大きな問題になりかねません。

#### ・遅刻に対する現地の対応

現地の教員は遅刻に厳しい対応を取ることが多く、シラバスにも遅刻に関する明確な規定を設けている先生が多いです。しかし、授業間の休憩が10分しかない上に、広大なキャンパス内での移動が必要な場合、遅刻する学生もいます。シラバスに遅刻に関するルールを記載する際は、「10分以内の遅刻は許容する」といった柔軟な規定を設けるのも一案です。

#### ★受講生の傾向と雰囲気 1

受講生の多くは、日本の表面的な部分については既に一定の知識を持っている印象があります。この授業を履修している時点で、彼らは「日本通」といえるでしょう。特に、授業の内容に強い興味を持っており、アニメや漫画など日本のポップカルチャーに関心があることが主な動機のようにです。授業を構成する際、こうした関心を考慮に入れることで、より効果的な学習を提供できます。また、真面目な学生が多く、授業も熱心に聞いてくれます。授業後に質問に来る学生も多く、授業後の理解度アンケートには、かなりマニアックな質問も寄せられました。授業全25回の中で、ちょうど中間地点の12回目や10月末のハロウィーン時期（16回目あたり）には、他の授業の中間試験や疲労の影響か、集中力や出席率が若干低下しました。しかし、全体的には前述の通り、非常に真面目な学生が多いです。

#### ・受講生の傾向と雰囲気について 2

これはあくまで私自身の経験に基づく話なので、統計データやリサーチ結果ではありません。それに、振り返ると「こうすればよかったかも」と思う点も含まれています。完璧に実践できていたわけではないですし、文化の違いも影響しているかもしれません。なので、これから話すことはあくまで印象論として受け取ってもらえると助かります。

#### 最初の印象に惑わされないで

結論から言うと、「最初に感じた印象だけで決めつけないで」ということです。HGUの学生に比べて、最初は「この学生たち、授業に興味ないのかな?」と感ずることが多いかもしれません。授業中にやる気がなさそうに見えたり、授業が終わった瞬間に帰る準備を始めたりする学生も少なくありません。正直、私も初めてその光景を見たときは、「大丈夫かな?」と焦ったり落ち込んだりしました。でも、これが意外なことに、そういう学生ほど実は授業に興味を持っていたり、すさまじく真面目だったりします。これは課題やテストの結果、さらには授業（成績）とは直接関係のないアンケートからも分かりました。ですので、「興味なさそうに見える学生」でも、実際にはしっかり内容を理解して楽しんでいる可能性があります（そして、その率がHGUよりも高いと感じました）。

### 熱意は伝わるし、反応もしっかりと返ってくる

これもちょっと熱血っぽい話なのですが、こちらが授業に注いだ熱量が多ければ多いほど、学生たちの反応もそれに比例します。特にHGUに比べて、その反応の振れ幅が大きいと感じます。たとえば、「ここ、きっと面白いと思ってくれるはず！」と気合を入れて準備した部分には、ちゃんと反応してくれます。しかも、疑問があれば質問してくれますし、授業の内容が面白ければすぐに「これ、いいですね！」と教えてくれる。とにかく素直です。もし「何か違和感があるな」と感じたら、授業の前後に学生たちに直接聞いてみるのが一番です。アンケートを取って意見や改善点を尋ねるのもいい方法。素直に教えてくれるので、それをもとに授業をどんどん改良できます。

### 短期集中型だからこそそのポイント

このプログラムは、短期間で結果を出すトーナメント形式の授業みたいなものです。授業回数は全部で25回だけ。そのため、毎回の授業がいわば一発勝負です。ここで大事なものは、リソースを出し惜しみしないこと。1回1回の授業にできるだけ多くの熱量を注ぎ込めば、学生たちの反応も大きくなります。アンケートのコメントが増えたり、授業の前後に感想や質問を伝えに来てくれる学生が出現します。こうした反応が自分のモチベーションをさらに引き上げてくれます。こういう「良い循環」を作れるのが、このプログラムの魅力だと思います。短い時間ですが、学生たちと一緒に思いっきり楽しんでください。

#### ・反省点（グループワークの実施など）

反省点として、学生同士がもっとコミュニケーションを取れる機会を設けるべきだったと感じています。グループワークを取り入れず、教員が一方的に話す講義スタイルを採用しましたが、現地の授業では学生同士や学生と教員の積極的なやり取りが一般的だと聞いています。教員と学生の交流も不足していたと感じる一方、学生同士のやり取りの場を増やしていれば、より活気のある授業になったのではないかと、今になって感じています。グループワークを取り入れなかった理由としては、私の英語力不足から、学生の口頭による発表や質問に十分に対応できるか不安があったためです。グループワークを行うと各グループに発表を求めることになり、教員と学生の間インタラクティブな関係が発生します。その関係に（英語力的に）円滑に対応できるか心配で、敢えて導入を見送りました。しかし、後から振り返ってみると、学生たちは非常に親切であったため、思ったより問題なく対応できたかもしれない、と感じる部分もあります。

また、授業の内容面に関する反省点もあります。例えば、日本人の日常であったり、カナダ人との生活スタイル上の差異などを取り扱えば良かったなどと後になって思いました。そちらは、本レポートに添付したアンケートをご覧ください。寄せられたアンケートには、学生からの要望も記載されています。授業を構成なさる際には、そのアンケートの内容を参照なさると良いでしょう。

#### [お金について]

##### ・ 9 月分の生活費

9 月分の生活費は、到着直後に支給されますが、口座開設がまだの場合は小切手で受け取りま  
す。小切手を持ってキャンパス内の銀行へ行き、開設した口座に入金してもらいます。

##### ・ 10 月分の生活費

10 月分の生活費は、10 月 24 日に振り込まれました。

##### ・ 交通費の支給

レスブリッジまでの交通費は、10 月 16 日に International Centre から「会計課での処理が完了  
した」と連絡があり、翌日、10 月 17 日に振り込まれました。なお、実際の交通費+その関連費用  
が支給額以上だった場合、課税されませんが、それ以下の場合は差額分が収入とみなされ、課税  
対象となります。

##### ・ 11 月分の生活費

11 月分と 12 月分の生活費は、11 月 14 日に 2 ヶ月分がまとめて振り込まれました。

##### ・ 生活費の支給タイミング

9 月分の生活費は到着直後（9 月 3～5 日あたり）に支給されますが、10 月分の支給は 10 月末  
（私の場合は 24 日）となるため、約 2 か月の間隔があります。そのため、9 月分の生活費を使い  
切った後は、支給される交通費を活用して 10 月末の振込を待つこととなります。待っている間  
は日本のクレジットカードも使えますが、為替レートによるデメリット（日本のクレジットカード  
を使用すると、外貨に手数料が乗るため）が発生します。

#### ★銀行アプリとデビットカード

RBC の銀行アプリがとても便利です。このアプリをスマホにダウンロードすると、スマホで  
残高を確認できます。RBC のデビットカードは、通常の店舗での買い物に使い、口座から自動的  
に引き落とされます。また、デビットカードは Apple Pay にも対応しているため、物理カードの  
発行を待たずに、iPhone に登録すればすぐに利用可能です。

ただし、RBC のデビットカードは amazon などのネットショッピングには使用できず、ネット  
で買い物をする場合は RBC の VISA パーチャルデビットカードが別途必要です。VISA パー  
チャルデビットの発行にはカナダ国内の電話番号が必要ですが、日本国内の番号しかなくても  
キャンパス内の銀行窓口で対応してもらえます。物理デビットカードの発行を待ってからパー  
チャルデビットカードの発行を申請すると、1 ヶ月近くかかってしまいます。ですので、最初に  
銀行窓口の方をお願いして、物理デビットカードと合わせてパーチャルデビットカードの申請も  
してしまいましょう（受け取り場所は、タウンハウスではなく銀行のキャンパス内支店を指定し  
ます）。

#### ★日本⇄カナダの送金について

WISE という送金サービスが解決策です。以下、詳細を説明します。日本からカナダに向かう

際、現金は最低限で構いません(私の場合は、50 CAD を空港での極端に悪い換金レートで仕方なく両替しました)。現地で現金を使う場面は主にホテルのチップ程度で、ほとんど現金は使いません。レスブリッジ大学からの支給金が入るまで、日本のクレジットカードで十分対応できます。

主に問題となるのは、多額の資金を日本から持ち込みたい場合や、カナダから日本へ送金したい場合です。特に、支給金が余った際に日本での両替が必要になる場合、両替レートの悪さが気になります(CAD を買うにしても売るにしても、結構な金額の手数料を取られます)。こうした際、WISE が便利です。カナダドル⇄日本円の両替を悪くないレートで提供し、手数料も安価です。さらに、カナダの銀行と WISE はネットで接続可能なため、カナダの銀行から現金を引き出す手間も省けます(日本・カナダの銀行からダイレクトに送金できます)。また、WISE のデビットカードを作成すれば、RBC のデビットカードやバーチャルデビットカードの発行を待たずに買い物が可能です。送金や両替にお困りの方は、WISE の利用をぜひご検討ください。WISE の弱点は、送金が完了するまでに3日程度かかることでしょうか。特に土日を挟むとさらに時間を要しますので、この点は注意が必要です。

#### ・カナダに行く際の領収書について

レスブリッジに到着後、移動にかかった全ての費用の領収書を提出する必要があります。タクシーの費用、ホテルの宿泊費、飲食にかかったお金などです。提出の際には、日本語の領収書に英語で説明を添えると、処理がスムーズになります(具体的には、何の為の支出なのかを明記すると良いです)。私の場合、領収書の一部が日本語だったため、会計課が処理に苦戦し、振り込みが大幅に遅れました。説明を英語で添付しておけば、このような手間が省けましたし、処理も早くなったのではと感じています。

#### ★オリエンテーションとキャンパスツアー

レスブリッジ到着後すぐに行われるオリエンテーションでは、スタッフと共にキャンパスツアーを行い、ID カードの発行や、借りる教室と研究室の確認を行います。また、この時に日本からレスブリッジまでの交通費に関する領収書をすべて提出します。飛行機チケット、ホテル、タクシー、バス、食費など移動にかかった全ての領収書を忘れずに用意してください。交通費として支給される金額を超える費用が発生した場合、その差額は課税対象になることがあります。また、帰りの航空券の領収書もこの時に提出します。ただし、支給される交通費の対象は行き交通費のみであり、帰りの分は支給対象外です。そのため、帰りの航空券の領収書を提出する理由については、私は分かりませんでした。

#### ・銀行の手続き

現地で利用する銀行は RBC です。レスブリッジ到着後、数日以内に銀行口座を開きます。この際、パスポート、就労ビザの紙、日本のマイナンバーカードが必要となります。

・生活費の支給

銀行口座には、レスブリッジまでの交通費と1日あたりで決まった額の生活費が振り込まれます。

・銀行口座の閉鎖

帰国する前に、銀行の口座をクローズすることを忘れないでください。

[その他]

★面倒を見てくださる先生（たち）について

北海学園大学から派遣される交換教員のサポートは、ここ数年間でレスブリッジ大学から北海学園大学に派遣された先生たち、2～3名が担当してくださることになっています。この2～3名の先生たちは、メンターとして授業についてのアドバイスをしたり、シラバス作成を手伝ってくれたり、日常生活のサポートをしてくれます。これは正式なルールとして定められているわけではなく、慣例的に行われている仕組みです。また、お忙しい中でボランティアとして本プログラムに参加して下さっています。メンター以外の先生（たち）からもサポートしていただく機会が多々あるものの、こちらも全て自発的なボランティア（つまり善意）となります。

★現地教員との交流

派遣される教員の専門分野やレスブリッジ大学で所属する学部・研究室によって異なりますが、有難いことに、とても多くの現地教員との交流の機会が期待できます。過去に北海学園大学に交換教員として赴任した先生、現地で知り合った先生や近隣の研究室の教員が連絡をくれることが多いです。また、学部内のメーリングリストで交換教員の存在がアナウンスされる場合もあります。さらに、International Centreの職員がHGUから来た教員の存在をメール等で拡散してくれることもあり、孤独を感じることは全くありません。むしろ、前述の通りとても多くの先生たちと接点を持つ機会が多いです。

★カナダコース小委員会

このプログラムに参加された先生にお願いがあります。交換教員としてレスブリッジ大学に赴任し、札幌に戻られた後は、今度はレスブリッジ大学から北海学園大学にいらっしゃる先生をサポートしていただきたいのです。北海学園大学には、そのための「カナダコース小委員会」があり、職員とともにサポート体制を整えています（私も約10年間、この小委員会に在籍していました）。しかし、小委員会の活動は十分に活発とは言えず、特に過去にレスブリッジ大学へ赴任された先生たちの参加率がとても低いことが課題となっています。このため、サポート業務に支障をきたす場合も多々あります。レスブリッジ大学に赴任された先生たちは、現地で多くの親切やご支援を受けることと思います。ぜひ、帰国後は北海学園大学の一員として、小委員会での活動を通じ、そのご恩にお応えいただければ幸いです。



・研究室の割り当て

お借りする研究室は、基本的に派遣される教員の専門分野に近い学部の研究室が選ばれます。これにより、周囲の教員も同じ分野であることが多く、他の教員とも知り合うことができる機会が生まれます。

・荷物の発送について

カナダ渡航前に荷物を送る場合、レスブリッジ大学の International Centre 宛に発送してください。住所や宛名の詳細は、センターの職員から案内されます（事前にお願ひすれば、宿舎に荷物を予め届けてくれます）。

・荷物の受け取り

Amazonなどで買い物をした際、International Centre に届いた荷物は、個人用メールボックスに配達されます。大きな荷物は、センターの受付近くに保管され、荷物が届いた場合はスタッフからメールで通知されます。

★小包や Amazon での購入品の受け取り

宿舎の住所を指定しても、荷物は直接宿舎には届かず、Housing Service の事務室に送られます。荷物が到着次第、登録されたメールアドレスに「荷物が届いたので取りに来てください」という通知が届きます。Housing Service はキャンパスの中心地から離れた場所にあるため、取りに行くのは大変です。そこで、届け先は International Centre か研究室を指定する方が便利です。なお、研究室を配送先として指定する場合は、研究室番号とともに所属する学部名も記載した方が良いでしょう（書き方は、写真を参照してください）。

・配送のタイミング

Amazonなどで大学宛に荷物を送る場合、大学に到着してから International Centre や研究室に配達されるまで追加で1日かかります。大学に届いた荷物は毎朝仕分けされ、翌朝10:30頃と14時頃（1日に2回）に指定場所に配達されます。

★研究室への荷物配送

Housing Service のスタッフから、研究室を配送先に指定することが可能だと教えてもらいました。しかし、指定しても International Centre に届いてしまうこともありました。私はセンター職員の負担を減らすため、配送先として研究室を指定するようにしていました。最初の数回はセンターに届いてしまいましたが、その後は無事に研究室に届くようになりました。なお、研究室宛の荷物は学部のメールボックス周辺に置かれる傾向があり、荷物が無防備に放置されることもあります。そのため、貴重品や重要な荷物は International Centre を配送先に指定する方が安心です。

・オーロラ観測

宿舎からオーロラが見えることがあります。2024年10月10日に確認されました。

#### ・ Health Centre（簡易病院）での診察

体調が悪い場合、International Centre による案内では、キャンパス内のヘルスセンターで簡単な診察を受けられます。ただし、Health Centre のウェブサイトには「学生のみ」と記載されており、教職員やその家族も診察可能かどうかは不明です。International Centre を通じて予約を依頼することで、診察を受けられる可能性があります。

#### ★持参する PC

できるだけ大きな画面のノート PC を持参することを強くおすすめします。私は 13 インチの MacBook Air を持参しましたが、画面が小さく、授業準備がかなり辛かったです。そのため、もう少し大きな画面の PC を用意することをおすすめします。私は宿舎の TV を PC とワイヤレス接続し、外部モニター代わりにして乗り切りましたが、レスポンスが鈍いなど、やや面倒な面もありました（解像度的にも辛かったです…）。

#### ・ 宿舎の TV

宿舎の TV はモニターとして利用できるものの、通常の番組は視聴できません。私は Apple TV を持参し、TV のモニターで Amazon プライムビデオや Disney + を視聴しました。また、現地ニュースを視聴したい場合は、Apple TV に CNN や ABC のアプリをダウンロードし、ストリーミングで観ていました。なお、2024 年時点では BBC ニュースのストリーミング視聴方法はありませんでした。もし TV モニターで何かを視聴したい場合は、Apple TV か amazon Fire TV Stick 等を持参すると良いと思います（PC とも HDMI ケーブルで接続できますが、その場合 PC はストリーミング鑑賞専用機となってしまいます）。

#### ・ カナダ⇄日本の荷物発送について

日本からカナダへは、日本郵便を利用して大きめの段ボール箱を 2 つ送りました。料金を抑えるため、発送方法は船便を選択し、2024 年 6 月 15 日に発送しました。重量はそれぞれ 13kg と 12kg で、料金は 9500 円と 8700 円でした。荷物は約 2 か月後にレスブリッジへ到着しました。なお、どちらかの箱に関税がかかりました。金額は約 20 CAD でした。

カナダから日本へは、小さめの段ボールを 1 つ送りました。こちらは Canada Post を利用し、同じく船便での発送です。2024 年 11 月 6 日に発送し、到着までに 2～3 か月かかると窓口で案内されました。重量は 5.3kg で、料金は 139 カナダドルでした。つまり、カナダから日本への発送は日本からの発送と比べてかなり高額です。また、ストライキの影響で荷物がいつ日本に届くのか分からない状況になってしまいました（2025 年 1 月 18 日現在）。追記：1 月 25 日に無事届きました。

レスブリッジでは郵便局が Shoppers の店舗内に併設されていることが多く、私も帰りの荷物を Save on Foods 近くにある Shoppers 内の Canada Post から発送しました。送り状は、事前に作成しておいた方がいいでしょう（未確認情報ですが、事前の作成が一律求められており、その場で手書きで作成することは、システム上無理かも？）。スマートフォンに Canada Post のアプ

りをダウンロードすれば、事前に送り状を作成できます。送り状が完成したら、QRコードが出てきます。そのコードを郵便局の窓口で店員さんに提示するだけで、荷物を発送できます。

#### ・学長への贈り物の準備

派遣される教員の場合、レスブリッジ大学の学長に対する贈り物が必要です。事前にHGUの庶務課が贈り物を用意してくれるため、派遣教員自身が心配する必要はありません。

#### ★現地のスタッフや先生(達)へのお土産の準備

教員やスタッフに対しては、個別のお土産を用意しました。私の場合は、ルビシアの北海道限定紅茶セット(3個の紅茶が入ったセット)を10個、さらに現地入りした後に日本の伝統的な技法で作られた卓上カレンダーを20個日本から購入しました。また、特にお世話になった先生たちには、木彫りのボールペンと真鍮のコースターを別途日本から取り寄せてお渡ししました。これらは、ちょっとした感謝の意を表すのに最適で、実用性のあるお土産が特に喜ばれます。日本の伝統や地域限定の製品は特に珍重されます(ちなみに、私は職人.comというショップを利用しました。海外への発送も素早く、とても便利です)。

#### ・現地の教職員やスタッフのサポート

レスブリッジ大学の教職員やスタッフは非常に親切です。派遣教員に対して手厚いサポートを提供してくれます。到着後のオリエンテーションで、現地での生活や業務に必要な基本的な情報が提供されるため、すぐに環境に慣れることができます。また、International Centreの職員も、様々な手続きをサポートしてくれるため、孤立感を感じることはありません。

#### ・就労ビザの取得

カナダの就労ビザを取得する際、時間が十分にある場合は自力で手続きを進めることが可能ですが、申請プロセスが複雑なため、エージェント(代行)を利用するのも一つの手です。私はネット上の情報を土台にして自力でビザを取得しましたが、手続きに想定以上の多くの時間と労力を費やした経験があるため、スムーズなプロセスを希望する方にはエージェントの利用を推奨します。

#### ・オリエンテーションとシラバスの調整

到着翌日に実施されるオリエンテーションでは、授業内容やシラバスについてメンターの先生と詳細な打ち合わせが行われます。この打ち合わせは、派遣教員が現地の教育システムやカリキュラムに適應するための重要なステップです。シラバスの内容に変更が必要な場合は、この場でメンターと協議し、修正することが求められます。

#### ・加入する保険

AIG 損保の海外出張保険に加入しました。基本的なプランを選択し、私は約70,000円、家族(妻)は約85,000円でした。

#### ・持ち物

最低限の衣類と授業で使用するノートPCまたはタブレットを持参すれば十分です。また、冬

靴も持っていくと安心です。

#### ・処方薬

滞在期間は4か月ですので、日常的に服用している薬がある場合は、最大処方量（99日分）プラス $\alpha$ を持参する必要があります。ただし、ほとんどの薬は現地でも入手可能です。

#### ・時差ボケ対策

レスブリッジ到着後、すぐにオリエンテーションなどの予定が詰まっています。時差ボケの影響を受けやすい方は、余裕を持ってレスブリッジに到着することをおすすめします。カルガリーやバンクーバーに2～3日滞在してから向かうのが理想的です。

#### ・必要なドキュメント

行きの羽田空港とカナダ入国時のカルガリー空港では、帰りの航空券の証明書やレスブリッジ大学からの招待状の提示を求められました。

#### ・荷物を前もって送る場合

日本から荷物を送る場合、8月頃からレスブリッジ大学のEメール受信箱を確認しておくといいです。荷物の受け取り方法についての連絡がメールボックスに届くことがあります。

#### ・天候

近年のレスブリッジの天候は不安定で、2024年も例外ではありませんでした。8月下旬から9月9日までは比較的暑く、30℃を超える日もありましたが、その後札幌の秋のような涼しい気候に変わりました。しかし、9月下旬には再び30℃を超える日があり、気温の変動が激しい印象です。冬も同じです。暖かい日が続いたと思うと急に寒くなったりするなど、アップダウンが激しい印象です。

#### ・ダウンタウンのイベント

9月から10月にかけてダウンタウンではイベントが多く開催されます。特に9月下旬には、図書館や大学が主催する Words on the Street というイベントがあります。

#### ・ファーマーズ・マーケット

郊外で開催されるファーマーズマーケットは、新鮮でリーズナブルな野菜を購入できる絶好の場所です。現地の先生もよく訪れるので、誘えば一緒に行く機会も増えます。

#### ・ゴミの分別

可燃ごみは宿舎の外にある大きな箱に、リサイクル可能なものは洗濯コーナーにある箱に捨てるようにしてください。

#### ・他の教員との連絡方法

こちらでは、Eメールよりもメッセージ（チャットアプリ？）を好む傾向があるようです。iPhoneを持っている方は、iMessageがよく使われます。メンターの先生とはメッセージの方がスムーズかもしれません。

#### ・研究室

研究室には、過去の派遣教員の先生が作成した資料が多く揃っていますので、参考にすると良いでしょう（私も今回の滞在中に資料を2つ加えておきました）。

#### ・日本から持参した方がいいと思ったもの

##### 塗るタイプのバンテリン（湿布でもOK）

授業の予習などで座りっぱなしの時間が増え、背中や腰が見事に悲鳴をあげました。幸い、塗るタイプのバンテリンを持参していたのですが、気がつけば使い切り…。現地で似たような薬「ボルタレン」を試してみたものの、なんだか「ちょっと違うんだよな」という感じ。ですので、背中や腰に一抹の不安がある方は、日本からバンテリン（もしくは湿布）を連れて行くのを強くおすすめします。

##### スマホやカメラの三脚

ランチやディナーにご招待いただく機会が度々ありました。意外なことに、レストランよりもご自宅が多かったのです。そうになると、食事も終盤に差し掛かった頃「みんなで写真撮りたいな」という場面が出てきます。ここで登場するのが、スマホやカメラ用の三脚。レストランなら店員さんに頼めばOKですが、家ではそうもいきません。私はAmazonで買った3000円くらいのMagSafe対応ポータブル三脚を持参しましたが、これが毎回大活躍。スマホを安定して置ける場所って、意外と少ないんです。また、授業の最後に学生さんと集合写真を撮影する際にも、もちろん三脚の出番です。ということで、三脚には本当に救われました。

#### ・冬の洋服

札幌の冬と同じ格好が必要です。2024年の冬は、11月に入って寒さが厳しさを増し、11月中旬～下旬に最低で-20℃程度の日が何日か続きました。この期間は、最高でも-10℃前後にしかなりません。風も強く、本当に寒いです。顔、耳、手、首も徹底的に覆わないと、外出できませんでした。その後、12月初旬に5℃程度+強風の日が続き、積もっていた雪が全て溶けました。寒い日はとことん寒いので、冬は札幌と同程度の装備が必要になります。

#### ・治安について

レスブリッジで生活するうえで気になるのが、街や大学周辺の治安です。これは個人の感覚による部分もありますが、少なくとも大学周辺や私たちの生活圏内の治安はとても良いと思います。

大学周辺では、深夜になっても学生が歩いている姿をよく見かけました。私がかつて留学していたアメリカ中西部では考えられない光景でした。また、極端な例ですが、学生寮（Siksika House）のドアに癖があって閉まりにくいとか、一晩中ドアが開いたままになっている部屋を見たことが何回かあります（ドアが開きっぱなしは珍しいものの、多くの学生寮では窓が一晩中開いたままになっていることが一般的です）。

街中も基本的には安全だと思います。2019年の秋に仕事でレスブリッジを訪れた際、大学の事務の方に「この街の治安はどうですか？」と聞いたところ、「最近はちょっと物騒だな」との返答

がありました。ゴッサムシティ化しているのかと思いましたが、理由を聞くと「たまにデモなどが行われるから」とのことでした。つまり、比較的安全な街だといえるでしょう。

とはいえ、街のすべてのエリアが安全とは限りません。場所によっては危険かもしれませんので、十分に気をつけてください。

#### [大まかなスケジュール]

##### **2023年12月30日**

ANAの特典航空券をマイルで取得（2名分往復で約20万マイルを使用。サーチャージは約20万円でした）。

[行き] 新千歳 → 羽田 → シアトル → カルガリー → レスブリッジ

[帰り] レスブリッジ → カルガリー → バンクーバー → 羽田 → 新千歳

##### **2024年1月17日**

レスブリッジ大学のDianeさんから、契約書への署名と返信を依頼される。

当日中に松浦が契約書に署名しウェブで提出。

##### **1月30日**

レスブリッジ大学のAngelaさんから、ワーク・パーミット申請用の書類が届く。

##### **2月1日**

HGUの熊谷さんから、HGU発行の書類が完成したと連絡を受ける。

##### **2月2日**

ビザ申請手続き開始。必要書類をウェブで提出。

カナダ側で書類審査が始まるが、所要時間は不明。

##### **2月3日**

浜松町での生体認証の案内が届く。

書類審査は生体認証と並行して進行中とのこと。

##### **2月5日**

浜松町での生体認証予約を2月27日に設定。

「早めに済ませた方が絶対に良い」とのアドバイスを、過去に派遣された先生から受ける。

##### **2月13日**

ビザ申請過程で学位記の提出を求められ、ウェブサイト上で提出。

※最初に修士の証明書を誤って提出したため修正。

##### **2月15日**

Dianeさんから2024年の授業スケジュールやルールを記載したガイドブックが届く。

##### **2月27日**

浜松町で生体認証を完了。所要時間約15分。

入場時の書類確認が少々煩雑だったため、事前に書類を提出しやすいように分類しておくといい。

### 3月9日

ビザ申請で再度学位記の提出を求められ、再提出。

### 3月12日

家族情報の提出を依頼され、ウェブサイト上で提出。

### 4月29日

ビザ取得。複数回の再提出を経て IRCC より審査完了の連絡。

### 4月30日

WestJet の航空券を購入。

[行き] シアトル → カルガリー → レスブリッジ

[帰り] レスブリッジ → カルガリー → バンクーバー

### 6月12日

Diane さんからシラバス作成依頼が届く。7月下旬頃までに暫定版を提出する必要あり。休講は基本的に不可。

### 8月2日

Diane さんにシラバスの暫定案を提出。

### 8月中旬

HGU から支度金 10 万円と滞在費等の合計 228,174 円が支給される。

レスブリッジ大学学長へのお土産も預かる。

### 8月20日

羽田発 → シアトル着。シアトル・クラウンプラザに 1 泊。

### 8月21日

シアトル発 → カルガリー着。ホテル ル・ジェルマンに 8 泊し、時差ボケを調整。

\*カルガリーでの入国時、オフィサーとのやり取りに約 90 分を要したが、通常は短時間で済む。

### 8月29日

カルガリー発/レスブリッジ着

空港では International Centre の Paul さん、Diane さん、Imaru さん、Omar 先生、Fangfang 先生、Beth 先生が迎えてくださる。

### 8月30日

レスブリッジ大学で教員 (Fangfang 先生, Arlan 先生)・職員 (Diane さん) とのガイダンスに参加。シラバスの修正案について協議した。出席点を 40% から 10% に減らし、毎回授業後に提出する課題を 30% に変更。授業の内容についても確認を受けた。

教員用 ID カードと研究室の鍵を受け取る。

### 9月3日

シラバスの最終版を提出。銀行口座を開設した。

口座開設にはパスポート、就労ビザ、日本のマイナンバーカードが必要。

9月分の生活費の小切手を受け取る。

### 9月4日

Teaching Centre で Moodle の使い方を学ぶ。

公表用シラバスが確定。

### 9月5日

初回授業を実施。

### 9月10日

銀行のデビットカードが Apple Pay で利用可能になる。

9月3日に受け取った小切手が口座に反映され、口座内のお金が使用可能に。

### 9月11日

SIN (Social Insurance Number) を取得するため、インターナショナルセンターの Paul さんと Service Canada を訪問。

### 9月16日

キャンパス内の銀行でデビットカードを受け取る。その場で Visa バーチャルデビットカードの申請も行う。

### 9月17日

レスブリッジ大学学長主催の歓迎会に参加。スピーチをする（原稿は本稿の最後に添付）。

多数の教職員の方やご家族にご参加いただく。

HGU 学長からのプレゼント（アイヌ民族の伝統的な製法でつくられたプレート）を学長に渡す。

レスブリッジ大学学長からパーカーとノートをいただく。

### 9月19日

教員主催の交流 BBQ パーティーがニッカ友好ガーデンで開催される。

### 9月21日

Steven 先生の案内で、「Word on the Street」（ダウンタウンのイベント）に参加。

### 9月25日

Visa バーチャルデビットカードが届き、amazon などのオンラインショッピングが可能に。

### 9月28日

Beth 先生の案内で Lethbridge Farmers' Market を訪問。

### 9月29日

International Centre の Paul さん宅でディナー。



10月2日

Teaching Centre で Moodle の使い方を再度学ぶ。

10月6日

Fangfang 先生の案内で、Fangfang 研究室の学生たちと「Writing-on-Stone」を訪問。

10月10日

オーロラを観測。

10月13日

Fangfang 先生宅でサンクスギビングディナー。

10月16日

International Centre から交通費の処理完了の連絡を受ける (税金はかからず)。

10月17日

銀行から交通費の振り込み手続き完了の E メールを受信。

その2時間後に口座に反映。

10月21日

初雪・初積雪を観測。

10月22日

Arlan 先生の招待でコンサートを鑑賞。

10月24日

10月分の生活費が銀行口座に振り込まれる。

10月26日

Beth 先生の案内でアジアン・マーケットを訪問。

11月1日

Steven 先生ご夫婦とランチ。

11月11日~17日

リーディング・ウィーク (授業休み&大学の機能は通常通り)

11月14日

11月・12月分の生活費が大学から振り込まれる。

11月17日

Michael 先生ご夫妻とランチ。

11月18日

Beth 先生と George さんの招待でディナーとレスブリッジ・シンフォニーのコンサートを鑑賞。

11月22日

Steven 先生ご夫妻, Beth 先生ご夫妻とディナー。

**11月23日**

Paulさんの招待でレスブリッジ大学のバスケットボールの試合を観戦。

**12月7日**

Fangfang先生宅でランチ。

**12月8日**

Michael先生ご夫妻とキャンドル・ナイト コンサートを鑑賞。

**12月9日**

Teaching Centre で Moodle の使い方を再度学ぶ。

**12月11日**

インターナショナルセンター主催のお別れランチ会。

Fangfang先生, Arlan先生, Paulさん, Dianeさん, Laurenさんにご参加いただく。

**12月12日**

Beth先生とSteven先生主催のお別れランチ会。

**12月15日**

Dianeさんとディナー。

**12月17日**

Oye先生, Fujiwara先生とお別れお茶会。

**12月18日**

PaulさんとDianeさんに迎えに来て頂き, 空港へ。

レスブリッジを離れ, カルガリー経由でバンクーバーへ。

バンクーバーで1泊。

**12月19日**

バンクーバーから日本行きフライトに搭乗。

**12月20日**

新千歳空港に到着。

## IDST 2008 Japanese Culture Fall 2024

**Classroom Location:** AH116

**Date & Time:** Tuesday/Thursday 3:00 pm - 4:15 pm

**Instructor:** Kazuhiro Matsuura, Ph. D., Visiting Professor from Hokkai-Gakuen University, Sapporo, Japan

**E-mail:** kazuhiro.matsuura@uleth.ca

**Office:** A812A

**Phone:** 403-329-2384

**Office Hours:** Tuesday/Thursday 4:30 pm - 5:30 pm or by appointment

### Course Description:

Okii, and welcome to Japanese Culture. This course will be primarily lecture-based and will be supplemented by handouts and readings that will be provided. This class will explore the characteristics of Japanese society, the history of Japan, and how these factors have influenced the development of Japan's present-day society and culture.

The early part of the semester is devoted to explaining the characteristics of Japanese culture. In other words, an overview of Japanese food, religion, and history will be presented. The second half of the semester will be spent reading and understanding the animations using the knowledge gained from this introduction. The animations are Ghibli's "Spirited Away" and "Princess Mononoke." A strong use of Japanese cultural traits characterizes this animation. The Japanese cultural characteristics learned in the first part of the course will help students to understand this work, and as a synergistic effect, understanding this work will lead to a further understanding of Japanese culture.

### Assessment and Attendance:

Assessment in this course will be based on three tests (20% each), assignments (30%) and attendance (10%). The tests will include true/false, multiple-choice, and short answers.

The assignment is given after each class. The content of the assignment is to submit a report summarizing what you learned and understood about Japan in that lesson, as well as anything you did not understand or any questions you have. Please respond to each question with more than 100

words and submit that through Moodle.

There will be no make-up exams without medical documentation of missed class. If you know you cannot take a test due to any circumstances, contact the teacher beforehand.

Three tests: 60% [20% each]

Assignments: 30%

Attendance: 10%

### **Webpage/Announcements/Other Information:**

Course materials and assigned readings will be posted on Moodle. PowerPoint presentations used in class will also be uploaded to Moodle after class.

### **Dates for the Tests Are as Follows:**

1. September 26
2. October 17
3. December 5

### **Textbook and Achieve Resources:**

The script for Ghibli's "Spirited Away" will be used. I will distribute the script via Moodle before the class begins, so please download and read through it beforehand.

### **The Table below Will Be Used to Convert Percentages to Letter Grades:**

A+ ≥93	B+ ≥83	C+ ≥73	D+ ≥60
A ≥90	B ≥80	C ≥70	D ≥50
A- ≥87	B- ≥77	C- ≥67	F <50

Round to the nearest decimal place.

### **Notes:**

All students are subject to the University of Lethbridge's policies regarding academic and nonacademic offenses. See the University of Lethbridge Calendar for details.

### **Proposed Course Schedule and Topics:**

This schedule may be subject to change. Any changes will be announced in advance.

Week1

[01] September 5 Introduction

Week2

[02] September 10 Geography

[03] September 12 History

Week3

[04] September 17 Religion

[05] September 19 Annual Events

Week4

[06] September 24 Review and Q&A

[07] September 26 Test 1

Week5

[08] October 1 Art (1)

[09] October 3 Art (2)

Week6

[10] October 8 Bushi (1)

[11] October 10 Bushi (2)

Week7

[12] October 15 Review and Q&A

[13] October 17 Test 2

Week8

[14] October 22 Japanese Culture through Studio Ghibli (1) "Spirited Away"

[15] October 24 Japanese Culture through Studio Ghibli (2) "Spirited Away"

Week9

[16] October 29 Japanese Culture through Studio Ghibli (3) "Spirited Away"

[17] October 31 Japanese Culture through Studio Ghibli (4) "Spirited Away"

#### Week10

[18] November 5 Japanese Culture through Studio Ghibli (5) "Princess Mononoke"

[19] November 7 Japanese Culture through Studio Ghibli (6) "Princess Mononoke"

#### Week11

November 12 Reading Week

November 14 Reading Week

#### Week12

[20] November 19 Introduction to Hokkaido by students of Hokkai-Gakuen University (1)

[21] November 21 Introduction to Hokkaido by students of Hokkai-Gakuen University (2)

#### Week13

[22] November 26 Japanese Culture through Studio Ghibli (7) "Princess Mononoke"

[23] November 28 Japanese Culture through Studio Ghibli (8) "Princess Mononoke"

#### Week14

[24] December 3 Review and Q&A

[25] December 5 Test 3

#### **Seeking Assistance:**

I am available to discuss progress in this class at any point or discuss Japanese culture. Do not hesitate to feel accessible if you are having difficulties in the course or with any other aspect of your academic progress so we can find the best way to get help and receive the most valuable learning experience.

#### **Instructor Access:**

Your classes are in-person. Please email me to schedule an appointment to discuss the course materials or your work. When you contact your instructor, please use your U of L email for communications with your instructor; this is to avoid problems with spam filters deleting your email to us.

#### **Students with Special Needs:**

If you have any special needs requiring accommodation, you should receive an official notice

concerning your situation. Accommodations will only be given upon receiving the official notification from that office.

**Classroom Etiquette:**

As college-level students, you are expected to exhibit good manners in the classroom to show respect to the professor and other students. This entails at least three essential aspects: 1) You can turn off your cellphones and other electronic devices, except for making notes. 2) Arriving and leaving on time: unexcused late arrivals could be disruptive to other students. Be punctual at the beginning of the class, and don't pack your stuff until the professor has finished lecturing. 3) No talking in class unless you are allowed to. Casual conversations should be carried out outside the classroom.

## 授業アンケートの結果 (アンケートを ChatGPT を用いて分析した)

### 授業アンケート詳細要約：

#### 1. 授業を通じた学びの深まり：

- 学生は日本の歴史、文化、社会構造、宗教観、技術、食文化など、多岐にわたる分野について深い理解を得ました。
- 授業を通じて、日本の多文化主義や宗教的寛容性に対する理解が深まり、固定観念が変わったという声が多く寄せられました。

#### 2. 授業の魅力と学習環境：

- 授業はわかりやすい構成と明確な進行で、学生の興味を引きつけました。
- 教師の丁寧な指導と親しみやすい雰囲気が、積極的な授業参加と学びの意欲を引き出しました。

#### 3. ジブリ作品を通じた日本の文化理解：

- 『千と千尋の神隠し』や『もののけ姫』などのジブリ作品を用いることで、環境問題や社会的メッセージなど、文化的な象徴を深く考える機会が増えました。
- 映画を文化的背景と関連付けることで、作品への新たな視点が生まれ、理解が深まりました。

#### 4. 日本語学習に対する意欲の高まり：

- スラングやキャラクター名を通して日本語への関心が高まり、学習意欲を示す学生が増えました。
- 授業中に配られたお菓子などの心温まる配慮が、学びをより楽しいものにしました。

#### 5. 改善点：

- 日本の日常生活や社会慣習に関する具体的な学びを増やしてほしい。
- 地元の日本食レストラン訪問など、体験型授業の導入を検討してほしい。
- 他のアニメスタジオ作品も取り上げてほしい。

### 質問内容：

- Q1. この授業を通して、日本に対する印象が変わった部分があれば教えてください。
- Q2. この授業についての感想を教えてください。ポジティブな意見もネガティブな意見も歓迎します。



学生からのコメント：

1. ATさん

Q1

この授業を受ける前から現代日本についてある程度の理解はありましたが、この授業を通じて日本の歴史や信仰・宗教についてさらに多くを学ぶことができました。普段はジブリ映画を北米的な視点で見ってしまうので、普段あまり深く考えないような日本映画のある要素に込められた深い意味を学ぶことが非常に興味深かったです。日本のメディアや社会を歴史的な視点から見ることができるようになりました。また、登場人物の名前やスラングを通じて日本語を学ぶこともとても役立ち、興味深かったです。

Q2

この授業はとても素晴らしい経験でした。授業の内容や構成が非常に明確で、分からない点があれば解消する機会も多く用意されていました。復習の時間はテストで何が求められるかを教えてくれたり、学習目標を整理してくれたりしたので非常に助かりました。この授業を日本出身の先生が教えてくださったことは、本当に貴重で、学生にとって日本をより深く理解する大きな助けになったと思います。この授業についての不満は全くありません。授業に出席して集中していれば、成功するために十分な内容が提供されていたと思います。学期中にお菓子を配ってくださったことにも感謝しています。

2. KBさん

Q1

まずは、素晴らしい先生でいてくださり、この授業をとても楽しく興味深いものにしていただいたことに感謝したいです。この授業を通して日本文化について多くを学ぶことができましたし、それが私に大きな印象を与えました。日本に関する知識が深まっただけでなく、日本とのつながりをより感じるできるようになりました。さらに、日本を訪れたい気持ちが強くなり、日本語を学びたいという意欲も湧いてきました。特に私にポジティブな影響を与えた印象の一つは、日本人がユーモアがあり、親切で、礼儀正しく、楽しく、そして勤勉であるという点です。これは先生の姿勢や授業で発表をしてくれた日本人学生たちを通して学ぶことができました。

Q2

この授業は、間違いなく私の大学生活全体を通じて最も好きなクラスでした。この授業は興味深く、楽しく、面白く、そしてエンターテインメントでした。この授業についてあまりネガティブなことは言えません。また、これほど楽しめたので、特に変更が必要だとは思いませんでした。スタジオジブリを通じて日本文化、特に自然や社会との関係性について学べたことがとても良

かったです。ただ、もし授業で少しでも時間を割けるなら、日常生活に関すること、なぜ日本人が特定のことをする・しないのかといった面についても学びたかったと思います。また、日本のスラングを学べたこともとても楽しかったです。毎回授業でこの部分を楽しみにしていました。

### 3. PKさん

#### Q1

多くの人は日本を「非常に伝統的」または「非常に近代的」と捉えがちですが、日本がいかに古代の伝統と最先端の技術を見事に融合させているかを知ると、そのイメージが変わります。最初は、寿司やラーメンといった基本的な日本料理に注目する人が多いかもしれませんが、私は日本食の多様性や地域ごとの特色、そして食事が文化的にいかに重要であることを発見しました。

#### Q2

この授業は本当に楽しかったです！ 以前の課題でも触れましたが、私の履修している他の授業はストレスが多い中、この授業はそれを超える素晴らしさがありました。毎回授業に来るのが楽しみでした。このような雰囲気のカラスや、あなたの熱意ある授業は他のどの授業でも経験したことがありません。ネガティブなフィードバックを挙げることができないほどです。以前、政治学の授業を取っていましたが、それはとてもストレスフルで、後にこの授業に変更しました。それは私の人生で最高の決断の一つでした。将来、日本旅行の予算を組むことができれば、ぜひ日本でお会いできることを楽しみにしています！ ありがとうございます！

### 4. KSさん

#### Q1

私がこの授業を通して、日本で最も変化したと感じる点は、多文化主義だと思います。日本の歴史について学び、日本では主要な宗教間で大きな戦争や争いが起こらなかったことを知ったのは驚きでした。これは、他の宗教を受け入れにくい世界の他の地域と比べると際立っています。神道と仏教が共通点を見出し、どちらも軽んじられることがないというのは興味深い点です。

#### Q2

この授業はとても楽しかったです。ほかの授業と比べても、この授業に毎日参加するのが楽しみでした。授業の初めにキャンディーを配ってもらえるのは、素敵なスタートになりました。また、授業で見た映画は、日本文化をより深く理解するための助けになりました。ただ説明を受けるだけでなく、映画を通じて学ぶという新しい学びの手段を得られてとても楽しかったです。一つだけ望むことがあるとすれば、町の日本食レストランに行くフィールドトリップがあればよかったですと思います。しかし、それ以外では、この授業を本当に楽しむことができました。

## 5. GCさん

### Q1

日本についての気持ちはあまり変わっていません。今でも日本に行きたいと思っていて、その気持ちはさらに強くなっています。もし世界の反対側に行くなら、それは私にとって大きな旅行になるでしょう。これまで日本には行ったことがなく、YouTubeや他のメディアを通してしか見ることができませんでしたが、それだけでも日本のことを感じられます。

日本のスイーツや料理を試してみたいです。本当に美味しそうで食べてみたくなります！ アニメのテーマカフェにも行ってみたいです。楽しそうだし、でも中にはあまり美味しくないものもあると聞いたことがあります。これはどこでも同じですよ。残念ながら私は海鮮や甲殻類にアレルギーがあるので、それらは食べられないと思いますが、それ以外のものを楽しみにしています。

いつか日本に行ける日が来ると思うと本当にワクワクします！ 実際に行って、色々なことを試して、たくさんものを見てみたいです。画面越しや話を聞くだけではなく、直接体験したいです。

この授業を受けることで、日本について本当に多くのことを学びました。歴史や文化について知ることができ、やりたいことがさらに増えました。日本に行くなら、たくさんのことをするために1か月以上滞在したいと思います。やるが多すぎて時間が足りません！

### Q2

授業は本当に楽しくて、たくさんことを学びました。先生の教え方は素晴らしいです。この授業のために週2回、時間を守って坂を登るのも価値があります。テストやクイズの勉強時間をしっかりと取ってくれるのもありがたいです。

これまで知らなかった日本のことを知ることができ、今ではもっと深く理解できるようになりました。授業で見せてくれる画像もわかりやすく、料理やアイテムがどのようなものか、イベントがどう進むのかがよくわかります。他の人たちがその料理やアイテムについてどう感じているのかを知るのも面白いです。

日本から来た他の学生たちが私たちのところに来て、自分たちの故郷や料理、飲み物、風景、観光地について話してくれたのも楽しかったです。夏はとても暑いから、できれば暑くない時期に来たほうが良いと言っていました。

この授業を受けられて本当に良かったと思っています。とても楽しくて大好きです！ 受講できるうちにこの授業を取ることができて嬉しいです、素晴らしい先生に教えてもらえて感謝しています。

## 6. JM さん

### Q 1

日本に対する印象が変わったわけではありません。もともと日本は素晴らしい国だと思っていました。ただ、日本が他の国々から本当にどれほど孤立していたのかについては気づいていませんでした。このコースは私の好奇心を大いに刺激してくれて、日本語を学んでみようという気持ちになりました。難しいと聞いていますが、それでも挑戦してみたいと思います。

日本の歴史を学ぶことや『千と千尋の神隠し』を観ることはとても楽しかったです。ただ、『もののけ姫』以外の映画、例えば他のスタジオの作品も観てみたかったという気持ちはあります。それでも、これらの作品が選ばれた理由は理解しています。母国への情熱を私たちに共有してくださり、本当にありがとうございました！ 京都での生活が素晴らしいものになるようお祈りしています！

### Q 2

日本文化の授業は本当に素晴らしかったです。授業はとても魅力的で、日本人の生活について深く知ることができました。このコースのハイライトの一つは、スタジオジブリ作品に込められた象徴性を探求したことでした。特に、『千と千尋の神隠し』がその物語を通じて消費主義や環境破壊を批判している点を理解することで、この映画に対する新たな視点を得ることができました。日本への情熱を私たちに共有してくださり、本当にありがとうございました。この経験を持たたことをとても幸運に感じています。改めて感謝するとともに、京都での生活が実り多いものになるようお祈りしています！ すべての幸運を祈っています！

## 7. JM さん

### Q 1

はい！ 日本に対する印象は完全に変わりました。これまで日本の文化や歴史についてあまり確信が持っていませんでしたが、今では少し理解が深まったように感じています。日本の宗教的な側面にはとても興味を持っています。多くの人々が複数の宗教を受け入れているという事実は、日本ならではのユニークなものだと思います。カナダにも多くの宗教がありますが、歴史的にはキリスト教が支配的でした。そして現在では、宗教が人々を分断してしまう傾向があり、カナダでは同じような調和が見られないと感じます。この授業を通じて、こうしたことを学び、カナダの未来に希望を持てるようになりました。私たちカナダ人が宗教の違いを乗り越え、一緒に生きる方法を見つけられる未来を目指したいと思います。

### Q 2

このコースが本当に大好きでした。この授業のおかげで、日本文化への興味がより深まり、日

本の歴史についてさらに学ぶコースを受講してみたいと思うようになりました。また、これまで持っていなかった日本に対する好奇心が芽生えました。今では、日本は旅行先リストのトップにあります！ 授業の最初にいつも日本語で挨拶してくれたのも個人的に大好きでした。ただ、あなたが私たちに何を言っていたのか聞けなかったことを後悔しています。お返事を学んでおけばよかったです。今回が私にとって大学での最初の学期でしたが、これまで受けた中でこの授業が一番好きです。

## 8. MP さん

### Q 1

このクラスは本当に素晴らしかったです。私は技術、ビデオゲーム、アニメにとっても興味があり、長い間日本に魅力を感じてきました。日本はずっと訪れたい場所だと思っていたので、このクラスを受けたことで、今はもっと行きたいと思うようになり、将来的には日本で働くことも考えています。このクラスのおかげで影響を受けたのは、さらに行きたい気持ちが強くなったことと、今後日本語を学ぶことを検討し始めたことです。

### Q 2

このコースは素晴らしかったです。日本について教えてくださり、ありがとうございました。カナダで素晴らしい時間を過ごされたことを願っています。あなたは素晴らしい先生ですし、京都での新しいポジションでのご成功を心よりお祈りします。

## 9. NK さん

### Q 1 & Q 2

このコースを受講したことで、日本に対する全体的な印象が変わったと思います。ただし、これは間違いなく良い方向への変化です。以前は、ポップカルチャーやインターネットで聞いた断片的な情報から、日本について漠然とした知識しか持っていませんでした。しかし、日本の文化についてより深く、正確な知識を得ることができ、それも実際に日本に住んでいる人から学べたのは、普段はなかなか得られない素晴らしい機会だったと思います。

また、もともと日本を訪れることに興味がありましたが、まだしばらくは行けないかもしれません。それでも、このコースを受講したことで、さらに訪れたいという気持ちが強くなりました。これらの理由から、コースに対するフィードバックは非常にポジティブです。この学期の中で最も楽しみにしていた授業だったかもしれず、修了してしまったのがとても残念です。

## 10. MA さん

### Q 1

日本についての印象はほとんど変わっていませんが、国に対する興味や疑問は深まりました。私は長い間、日本は西洋諸国よりも進んでいる、あるいは少なくとも変化や適応が速い国だと思っていました。歴史や文化に魅了され、授業で話した都市を実際に訪れてみたくなりました。エンターテインメントの趣味も、日本のアニメやゲームなど、日本風のテーマを含むものが増えました。日本という国は、単に「訪れると面白そうな場所」から、「冒険と文化的多様性に満ちた素晴らしい国」へと私の中で変わりました。

### Q 2

この授業は、通常の授業の単調さからの息抜きでした。課題のストレスが少なく、授業に来るのが楽しかったです。このような授業スタイルのおかげで、他の厳しい授業に集中する余裕もできました。同じ学校の友人たちに、この授業を受けることを勧めています。内容が面白いだけでなく、リラックスして学べるからです。もしまたこの授業を受ける機会があれば、ぜひ受けたいです。唯一の希望は、文化や社会についてもっと事前に知識を持っていたら、という点です。

## 11. CS さん

### Q 1.

この日本文化の授業を通じて、私の日本に対する理解は劇的に変化しました。日本の歴史、技術、文化的な細かい側面や社会的な慣習についての包括的な学びを通じて、日本への感謝の念が深まりました。最初の印象以上に日本が複雑で魅力的な国であることを知りました。革新的な技術、豊かな文化的伝統、独特な趣味、そして興味深い食文化について学ぶことで、目を開かされる思いがしました。自然災害のような課題を認識しつつも、日本人の強靭さと適応力に深い敬意を抱くようになりました。この授業は単なる学問的な学びに留まらず、私にとって変革的な経験となり、日本に住むことを視野に入れたという思いを強めました。教授の魅力的な教え方と包括的なアプローチが、この学びの旅を楽しく、そして啓発的なものにしてくれました。

### Q 2.

この日本文化の授業は、私の期待を遥かに超える素晴らしい教育経験でした。教授の革新的な指導方法は従来の学びを一変させ、毎回の授業を日本文化の動的で魅力的な探求へと導いてくれました。一般的な大学の授業がスライドプレゼンテーションに頼りがちな中、この授業では学生の関心を高く維持するために毎回新鮮で魅力的なトピックが取り上げられました。共有された知識の深さと、インタラクティブで刺激的な教え方が相まって、学びを苦勞なく、そして楽しいものにしてくれました。この授業は、学問的な厳しさと情熱を見事に融合させ、学生が日本につい

て深く、そして包括的に理解することを促してくれました。教授の専門知識とインタラクティブな指導スタイルが理想的な学びの環境を作り出し、毎回の授業が新たな発見のように感じられました。日本文化について深い洞察を得たい人には、ぜひこの授業をお勧めしたいと思います。

## レセプションでの挨拶 @レスブリッジ大学

2024年9月17日

Thank you very much for inviting me here today.

First, I would like to thank the kind staff at the International Center and the supportive mentor professors for helping me get off to a good start. My wife Mari and I want to thank you all.

As many know, I am from Hokkai-Gakuen University in Sapporo, Hokkaido, Japan.

It has been over 30 years since Hokkai-Gakuen University and the University of Lethbridge began their partnership. Our relationship started in 1981, so this partnership has been ongoing even before I was born. This is truly wonderful.

How many students have studied at Lethbridge and Sapporo over the past 30 years? I know of several students whose lives have been wonderfully changed by the opportunity to study at Lethbridge. Our partnership has changed the lives of many students.

Oh, and please allow me to add one more person. There is an indispensable and incredibly kind guy in this 30-plus-year partnership: Mr. Kiyoshi Wakai. He was a man who lived near the guest house of Hokkai-Gakuen. Until he passed away in 2018, he made tremendous contributions to our activities as a volunteer. In 2019, many associates from the University of Lethbridge and Hokkai-Gakuen, who are friends of Mr. Wakai, set up a monument and a maple tree in his honor. Before I departed for Canada, I visited Mr. Wakai's tree and paid my respects.

It's not just him—thanks to the cooperation of many people, countless faculty members and students from both universities have connected, deepening their understanding of Canada, Japan, Lethbridge, and Sapporo. This partnership will continue to inspire many people from both universities. I hope that this exchange will grow stronger and last forever. Thank you.



本日はお招きいただき、誠にありがとうございます。

まず初めに、ここにいる国際センターの親切なスタッフの皆様、そして出発時からサポートしてくださった先生方に感謝の意を表したいと思います。妻と共に、心より感謝申し上げます。

ご存じの方もいらっしゃるかと思いますが、私は北海道札幌市にある北海学園大学から参りました。

北海学園大学とレスブリッジ大学が提携を始めてから、既に30年以上が経過しました。この関係は1981年に始まり、私が生まれる前から続いている素晴らしいパートナーシップです。

これまでの30年間で、どれだけ多くの学生がレスブリッジと札幌で学んできたことでしょうか。私が知る限りでも、レスブリッジでの留学の機会により人生が素晴らしく変わった学生が何人もいます。我々のパートナーシップは、これまでに多くの学生の人生を変えてきました。

それから、もう一人ご紹介させてください。この30年以上にわたるパートナーシップにおいて、欠かせない存在であり、非常に親切な方がいらっしゃいます。それは、北海学園大学のゲストハウス近くに住んでいた若井清さんです。彼は2018年に亡くなるまで、ボランティアとして私たちの活動に多大な貢献をしてくださいました。2019年には、レスブリッジ大学と北海学園大学の多くの関係者が若井さんの友人として、彼を称えるために記念碑とカエデの木を植えました。私がカナダに向けて出発する前に、若井さんの木を訪れ、敬意を表してまいりました。

彼だけでなく、多くの方々の協力により、両大学の無数の教員や学生がカナダ、日本、レスブリッジ、そして札幌について理解を深めてきました。このパートナーシップは、これからも両大学の多くの人々に影響を与え続けることでしょう。この交流がさらに強まり、末永く続くことを願っています。ありがとうございました。

カナダ・レスブリッジ大学交換教授 派遣実績一覧

通番	在職	氏名	所属	分野	期間
1	×	村井忠政	教養部	社会学	S59年9月～60年1月
2	×	立谷憲二	教養部	英語	60年1月～60年4月
3	×	鳥井十三雄	教養部	マスコミ論	60年8月～60年12月
4	×	河西勝	経済学部	経済学	61年8月～61年12月
5	×	佐藤克廣	法学部	行政学	62年8月～62年12月
6	×	西沢悟	教養部	心理学	63年8月～H1年1月
7	×	本城誠二	教養部	英語	H1年8月～1年12月
8	×	小島康次	教養部	心理学	2年9月～2年12月
9	×	大江敏美	教養部	国際事情	3年12月～4年4月
10	×	植木幹雄	教養部	哲学	4年8月～4年12月
11	×	川端俊一郎	経済学部	商学	5年8月～5年12月
12	×	小池直子	教養部	英語	6年8月～6年12月
13	○	加藤信行	法学部	国際法	8年1月～8年4月
14	×	牛丸元	経済学部	経営学	8年8月～8年12月
15	×	河西勝	経済学部	経済学	9年9月～9年12月
16	×	当麻庄司	工学部	構造工学	10年8月～10年12月
17	×	君島東彦	法学部	法学	11年8月～11年12月
18	×	二通信子	共通教育・研究センター	日本語学	12年8月～12年12月
19	×	上野之江	法学部	英語	13年9月～13年12月
20	×	植木幹雄	法学部	哲学	14年9月～14年12月
21	×	樽見弘紀	法学部	政治学	15年8月～15年12月
22	×	野崎久和	経済学部	国際事情	17年1月～17年2月
23	×	岡崎敦男	工学部	天文学物理学	18年7月
24	×	寺田吉孝	経営学部	ロシア語	18年9月～18年12月
25	×	太田和宏	経済学部	経済学	19年9月～19年12月
26	×	山本裕子	工学部	工学	20年9月～20年12月
27	×	田口晃	法学部	政治学	21年9月～21年12月
28	○	平野研	経済学部	経済学	22年9月～22年12月
29	×	瀬戸治	工学部	天文学物理学	23年9月～23年12月
30	×	笠嶋修次	経済学部	経済学	24年9月～24年12月
31	×	晴山雅寛	工学部	物理学	25年9月～25年12月
32	×	岩崎まさみ	人文学部	文化人類学	26年9月～26年12月
33	○	鈴木光	法学部	法学	27年9月～27年12月
34	○	宮島良明	経済学部	経済学	28年9月～28年12月
35	×	上野之江	法学部	英語	29年9月～29年12月
36	○	赤石篤紀	経営学部	経済学	30年9月～30年12月
37	○	水野谷武志	経済学部	経済学	R1年9月～1年12月
38	○	松本広幸	経済学部	英語	—2年9月～2年12月
39	○	夫石雅也	経営学部	経営学	—3年9月～3年12月
40	○	小柳秀光	工学部	工学	4年9月～4年12月
41	×	池田真歩	法学部	政治学	5年9月～5年12月
42	○	松浦和宏	法学部	現代アメリカ文学	6年9月～6年12月
43	○	大西真一	工学部	工学	7年9月～7年12月
44	○	五十嵐素子	法学部	社会学	8年9月～8年12月
45	○	赤石篤紀	経営学部	経済学	9年9月～9年12月

カナダ・レスブリッジ大学交換教授 受入れ実績一覧 (北海学園大学分ののみ) 2024.4.24現在

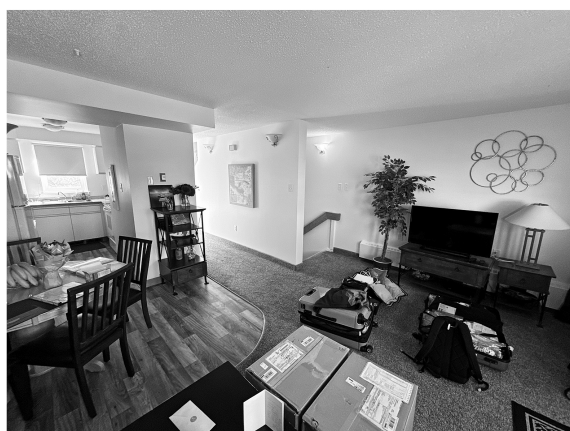
通番	年	氏名	氏名(カナ)	所属	分野	期間
1	2007	VISENTIN Peter	ヴィセンティーン・ピーター	芸術学部	音楽	2007.04.05~2008.07.18
2	2007	KAVANAGH Mary	カヴァナ・メアリー	芸術学部	その他人文・社会科学	2007.09.17~2007.12.21
3	2008	BOERE Rene	ブーレ・レネ	文理学部	化学	2008.04.04~2008.07.18
4	2008	HARDING John	ハーディング・ジョン	芸術学部	宗教	2008.09.17~2008.12.23
5	2009	AKBARY-MAJIDABADNO Amir	アクバリー・マジダバドノ・アミール	文理学部	理学	2009.04.03~2009.07.17
6	2009	HEIDI MacDonald	マクドナルド・ハイディ	文理学部	歴史学	2009.09.14~2009.12.24
7	2010	MALACRIDA Claudia	マラクリーダ・クロロディア	文理学部	社会学	2010.04.05~2010.07.16
8	2010	KOSSUTH Robert	コスース・ロバート	文理学部	運動学	2010.09.14~2010.12.24
9	2011	-	-	-	-	-
10	2011	SHIMAZAKI Hiroshi	島崎 博	名誉教授	文化地理学	2011.10.02~2012.01.06
11	2012	SCOTT Shelley	スコット・シェリー	芸術学部	演劇	2012.04.02~2012.07.30
12	2012	KINGFISHER Catherine	キングフィッシャー・キャサリン	文理学部	文化人類学	2012.09.12~2012.12.24
13	2013	BUBEL Shawn	ビュベール・ショーン	文理学部	考古学	2013.04.04~2013.07.25
14	2013	GREENSHIELDS Malcolm	グリーンシールズ・マルコム	文理学部	歴史学	2013.09.13~2013.12.25
15	2014	TAYLOR Aaron	テイラー・アロン	芸術学部	芸術	2014.04.03~2014.07.31
16	2014	LAURENDEAU Jason	ローレンドール・ジェイソン	文理学部	社会学	2014.09.12~2014.12.26
17	2015	OYE Deanna	オオエ・デアナ	芸術学部	音楽	2015.03.31~2015.07.29
18	2015	LEE Bonnie	リー・ボニー	保険科学学部	運動学	2015.09.10~2015.12.25
19	2016	URQUHART Steven	アーカート・ステイブン	文理学部	フランス語	2016.03.31~2016.07.31
20	2016	WASIAK Edwin	ワゼアック・エドウィン	教育学部	音楽	2016.09.12~2016.12.25
21	2017	RODRIGUEZ Omar	ロドリゲス・オマル	文理学部	スペイン語	2017.04.02~2017.07.26
22	2017	-	-	-	-	-
23	2018	GERWIN Elisabeth	ガーウィン・エリザベス	文理学部	フランス語	2018.03.29~2018.08.04
24	2018	HAYES Paul	ヘイズ・ポール	文理学部	化学	2018.09.11~2019.01.01
25	2019	DYMOND Anne	ダイモンド・アン	芸術学部	美術史	2019.03.30~2019.08.03
26	2019	BOUDREAU Robert	ブードロー・ロバート	ティランビジネススクール	経営学	2019.09.18~2019.12.22
27	2020	-	-	-	-	-
28	2020	-	-	-	-	-
29	2021	-	-	-	-	-
30	2021	-	-	-	-	-
31	2022	-	-	-	-	-
32	2022	ADAMS Carly	アダムス・カーリー	文理学部	歴史学	2022.09.14~2022.12.22
33	2023	PEDDLE Derek	ペダル・デリック	文理学部	地理学	2023.04.02~2023.07.29
34	2023	Li Fangfang	リ・ファンファン	文理学部	言語学	2023.09.13~2023.12.21
35	2024	SCHULTZ Arlan	シュルツ・アラン	文理学部	音楽	2024.04.02~2024.07.30
36	2024	Richelle Marynowski	マリナウスキー・リチャエル	教育学部	教育学 (数学)	2024.09.13~2024.12.21
37	2025	Amy Shaw	-	-	-	-
38	2025	Michelle Hogue	-	-	-	-



1. 故若井清さんの木（豊平キャンパス）



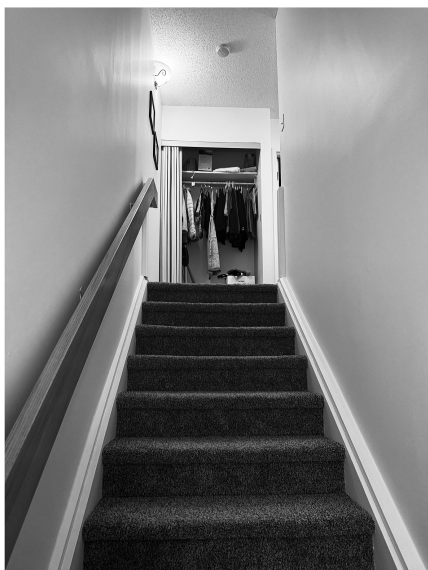
2. 宿舎のキッチン（たいていの物は揃っています）



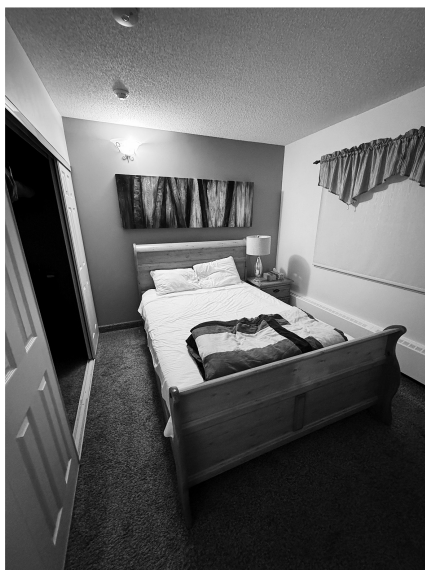
3. 宿舎のリビング（2階）



4. 宿舎の洗面所



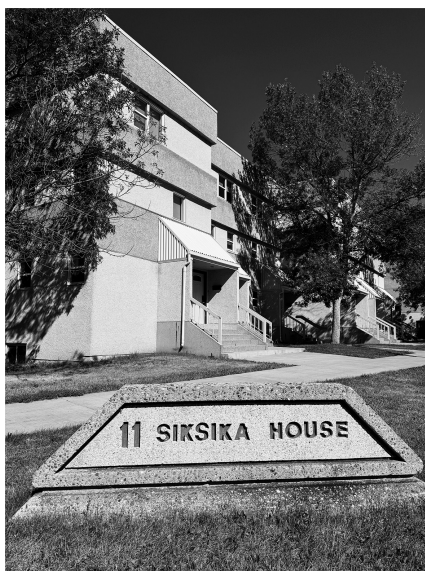
5. 宿舎の3階へ



6. 宿舎の3階にある寝室  
(2つのうちの1つ&ルーターが設置  
されている)



7. 宿舎外観



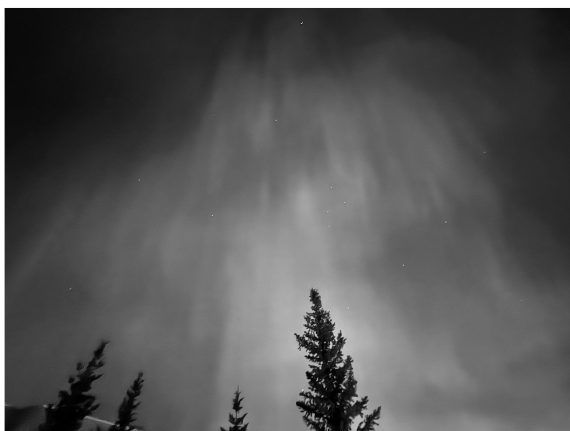
8. 宿舎外観 (シクシカ・ハウス)



9. 宿舎から見えたオーロラ (2024年10月10日)



10. 宿舎から見えたオーロラ



11. 宿舎から見えたオーロラ



12. 宿舎外観



13. 宿舎の前にあるゴミ捨て場



14. コイン洗濯機 (1回2ドル)



15. コイン洗濯機のコントローラー



16. リサイクル用のゴミ箱



17. 宿舎からの景色



18. 宿舎の前（秋）



19. 秋の宿舎



20. 宿舎から見た秋の夕焼け





21. 宿舎の前にある湖 (夏) (アパーチャー湖)



22. 宿舎の前にある湖 (秋) (アパーチャー湖)



23. 冬のアパーチャー湖  
(超絶寒い日でしたが、湖は美しかった)



24. 冬のアパーチャー湖



25. 冬のアパーチャー湖



26. 初雪（10月21日）



27. 朝焼けの宿舎



28. 夕暮れの宿舎



29. 宿舎からの景色



30. 初雪 (10月21日)



31. 宿舎からの景色



32. 雪の中の宿舎



33. 霧の宿舎



34. 真冬の青天時



35. 研究室からの景色



36. 大学から見た景色



37. 大学から見た景色



38. 冬の宿舎



39. 冬のキャンパス



40. 高架橋



41. 宿舎から見る夜明け



42. 研究室から見た景色



43. 大学からの景色



44. 大学からの景色



45. キャンパスの外観



46. キャンパスの外観



47. キャンパスの外観



48. Writing-on-Stone (絶景です)



49. Writing-on-Stone



50. インターナショナルセンターの外観

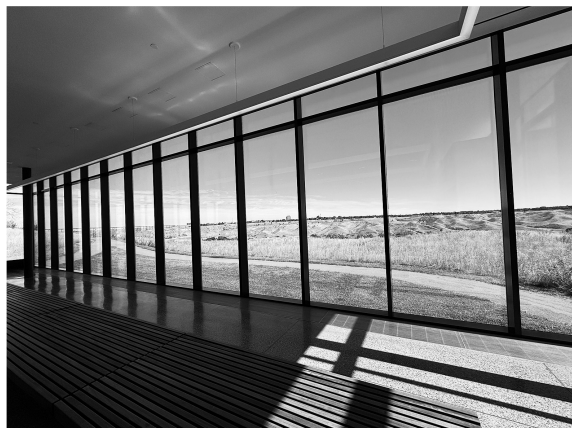


51. インターナショナルセンターの内観



52. キャンパス内





53. キャンパスの内観



54. キャンパス



55. 学内のスターバックス (長期休み中は休業)



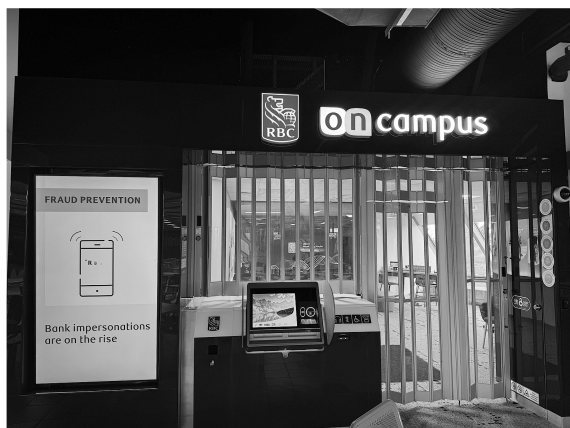
56. キャンパス内にあるバスターミナル



57. ティーチング・センター  
(Moodle の使い方を教えてくれます)



58. キャンパス内のコンビニ（家族のバスカード購入可能）



59. キャンパス内の銀行（RBC &口座を開設できます）



60. 学食



61. 学食内のカフェ  
(キャンパス・コーヒー&オススメはソイミルクの  
マッチャ・ラテ)



62. お借りした教室内 (AH116)



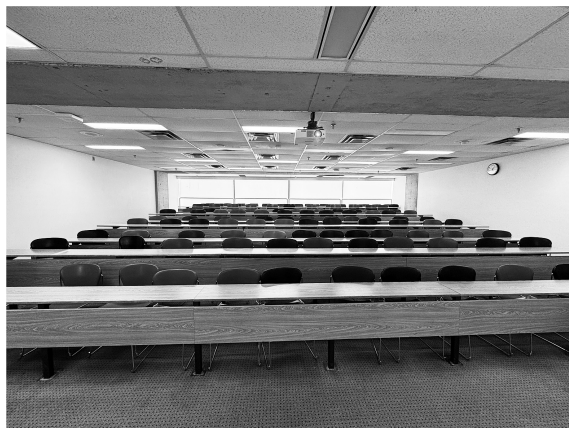
63. お借りした教室内 (AH116)



64. 教室内



65. 教室内



66. 教室内



67. 教室内



68. お借りした教室内 (AH116)



69. 図書館



70. テスティング・センター  
(Moodle テスト時に使用する & 事前に  
予約が必要です)



71. お借りした研究室 (A812A)



72. お借りした研究室 (A812A)



73. お借りした研究室 (A812A)



74. 過去の交換教員の資料 (松浦の資料も2つあります)



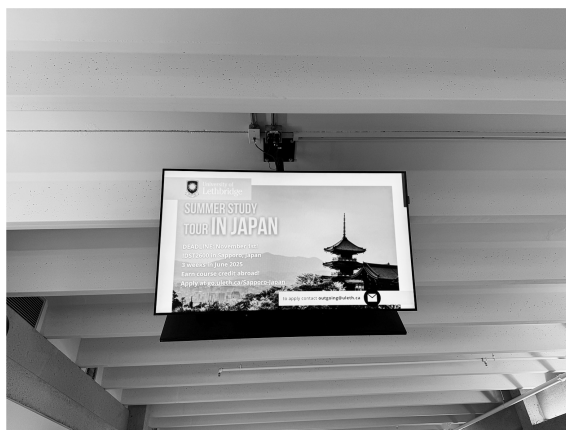
75. 交換教員用のメールボックス



76. アシスタントの方の座席



77. 届いた荷物の宛先  
(研究室に送る場合は所属学部も書いた方がよい)



78. HGU のプログラムを紹介する構内広告  
(何故か京都の様な景色が背景)



79. キャンパスからの景色



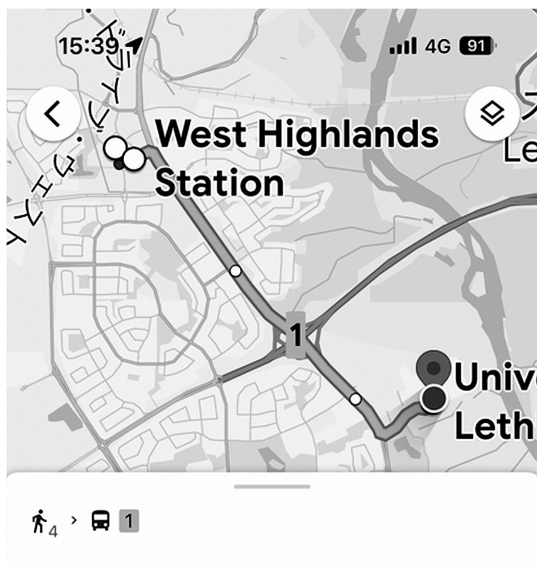
80. テスティング・センター  
(Moodle テスト時に利用する & 事前に  
予約が必要です)



81. バスで10分圏内のスーパーマーケット  
(セーブオンフーズ)の外観



82. バスで10分圏内のスーパーマーケット  
(セーブオンフーズ)の外観



83. バスで10分圏内のスーパーマーケット  
(セーブオンフーズとセーフウェイは近接)



84. セーブオンフーズの内観

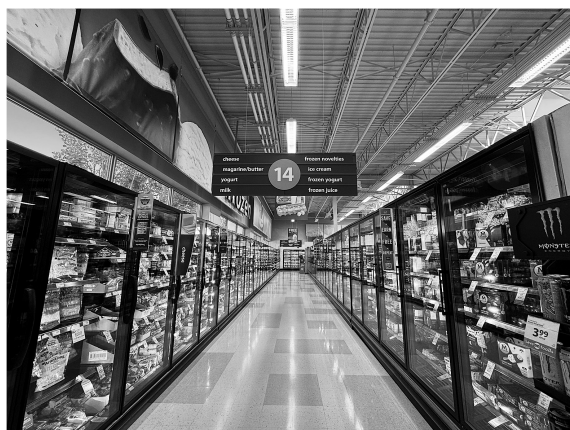




85. バスで10分圏内のスーパーマーケット  
(セーフウェイ)



86. セーフウェイの内観



87. セーブオンフーズ内観



88. 最寄りのお店  
(ショッパーズ&大型のコンビニという感じ)



89. 地元の美味しいコーヒーブランド  
(Kicking Horse コーヒー)



90. ファーマーズマーケット 1



91. ファーマーズマーケット 2



92. ファーマーズマーケット 3



93. 日本食品の Nakagama  
(日本のお米やおかしが豊富&レジの横に  
売っているおいなりさんとコロケが美味)



94. ダウンタウンのパン屋さん Little Bakehouse (外観)



95. バスの車内 (乗り口は前方)



96. ダウンタウンのパン屋さん  
Little Bakehouse (レーズンパン  
とチョコクロワッサンが美味)



97. カフェ Bread Milk & Honey



98. カフェ Bread Milk & Honey  
(ちょっとした息抜き用にオススメのカフェ)



99. GALT ミュージアム 1 (お土産も買えます)



100. GALT ミュージアム 2



101. 様々な催し物がある CASA



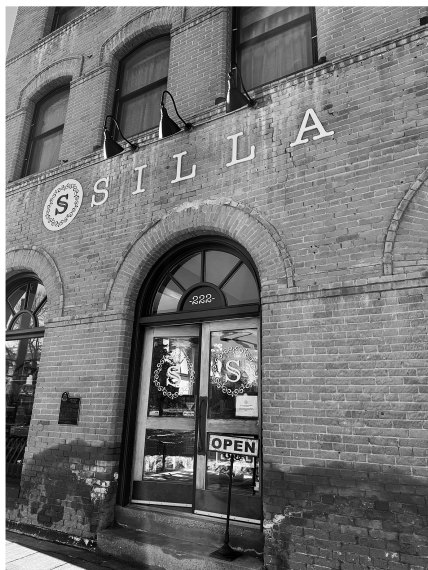
102. レスブリッジ・シンフォニー  
(この年はスビルバーグ映画特集  
でした)



103. レスブリッジ・シンフォニー



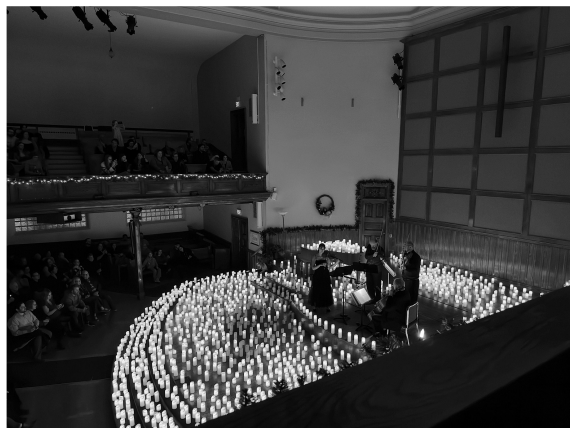
104. バスケットボールの試合  
(結果は大敗でしたが、観戦自体は結構面白い)



105. お洒落な雑貨屋さん（SILLA）



106. SILLA の店内  
（かわいいクリスマスカードやグッズが沢山売ってます  
&癒されます）



107. キャンドルナイト・コンサート



108. キャンドルナイト・コンサート



109. 宿舎の Wifi



110. 研究室の Wifi



111. 宿舎 Wifi



112. デビットカード  
(ApplePay 対応)



113. 11月下旬の気温 (最も寒い日)



114. デビットカードとバーチャル・デビットカード  
(バーチャルの方はネット・ショッピング時に必要)



115. ダララマ (雑貨屋さん & スリーコインズのなお店)





116. ダララマの店内  
(スリーコインズ的なお店)



117. バルクバーン (量り売りのお店)



118. バルクバーンの店内 (お茶や香辛料もある)



119. 宿舎の前にいた兔  
(冬になるとモフモフ&まっ白になります&シカもいます)